

参考資料2 「田園回帰」に関する調査研究中間報告書（平成29年3月）

第2章 都市部の住民の意識調査（抜粋）

2-1. 調査の概要

(1) 調査の目的

「田園回帰」の全体像を把握するため、「実際に生じている都市部から過疎地域への人口移動」だけでなく、潜在的な「都市部の住民の農山漁村地域に対する関心の高まり」という局面からも分析する必要がある。

このため、現在、都市に居住する住民に対してアンケート調査を実施し、過疎地域（アンケートでは、住民に分かりやすいよう「農山漁村地域※」とする。）への関心や移住に対する意向等について調査を実施した。

※本アンケート調査において、「農山漁村地域」とは、「都市部から離れており、周辺に農地や森林、海岸等の自然豊かな環境が広がる地域のこと」と定義した。

(2) 調査の実施方法

①調査対象

東京都特別区及び政令市に居住する20歳～64歳の在住者 3,116人

- ・サンプル数は、調査対象となる地域（5ブロック）及び年代（5階層）による人口構成比に応じて割付
- ・男女のサンプル数の割付は各ブロック、年代で同数とする

②調査方法

インターネット調査（ネットリサーチ会社のモニターを対象としたアンケート）

③実施期間

平成29年1月

④主な調査項目

- ・農山漁村地域に対する意識や関わり（農山漁村に対する印象、農山漁村との関わり等）
- ・農山漁村地域への移住意向（移住意向の有無、移住に必要な条件、移住に対する不安等）
- ・「田園回帰」の促進に向けた施策等（農山漁村地域への移住を後押しする施策等）
- ・回答者属性

(3) 有効回答数

対象自治体	地域ブロック	北海道・東北			関東			東海			関西			中国・九州			合計		
	構成都市	札幌市 仙台市 新潟市	さいたま市 千葉市 特別区 横浜市 川崎市 相模原市		静岡市 浜松市 名古屋市		京都市 大阪市 堺市 神戸市		岡山市 広島市 北九州市 福岡市 熊本市										
有効回答数	計	162	162	324	761	761	1,522	157	157	314	266	266	532	212	212	424	1,558	1,558	3,116
	20～29歳	30	30	60	147	147	294	29	29	58	52	52	104	41	41	82	299	299	598
	30～39歳	37	37	74	185	185	370	36	36	72	60	60	120	49	49	98	367	367	734
	40～49歳	41	41	82	209	209	418	42	42	84	71	71	142	54	54	108	417	417	834
	50～59歳	34	34	68	152	152	304	33	33	66	55	55	110	44	44	88	318	318	636
	60～64歳	20	20	40	68	68	136	17	17	34	28	28	56	24	24	48	157	157	314

※調査対象の抽出は、上記の5ブロックで行ったが、次ページ以降の分析にあたっては、「北海道」、「東北」、「関東」、「東海」、「関西」、「中国」、「九州」の7ブロックで行った。

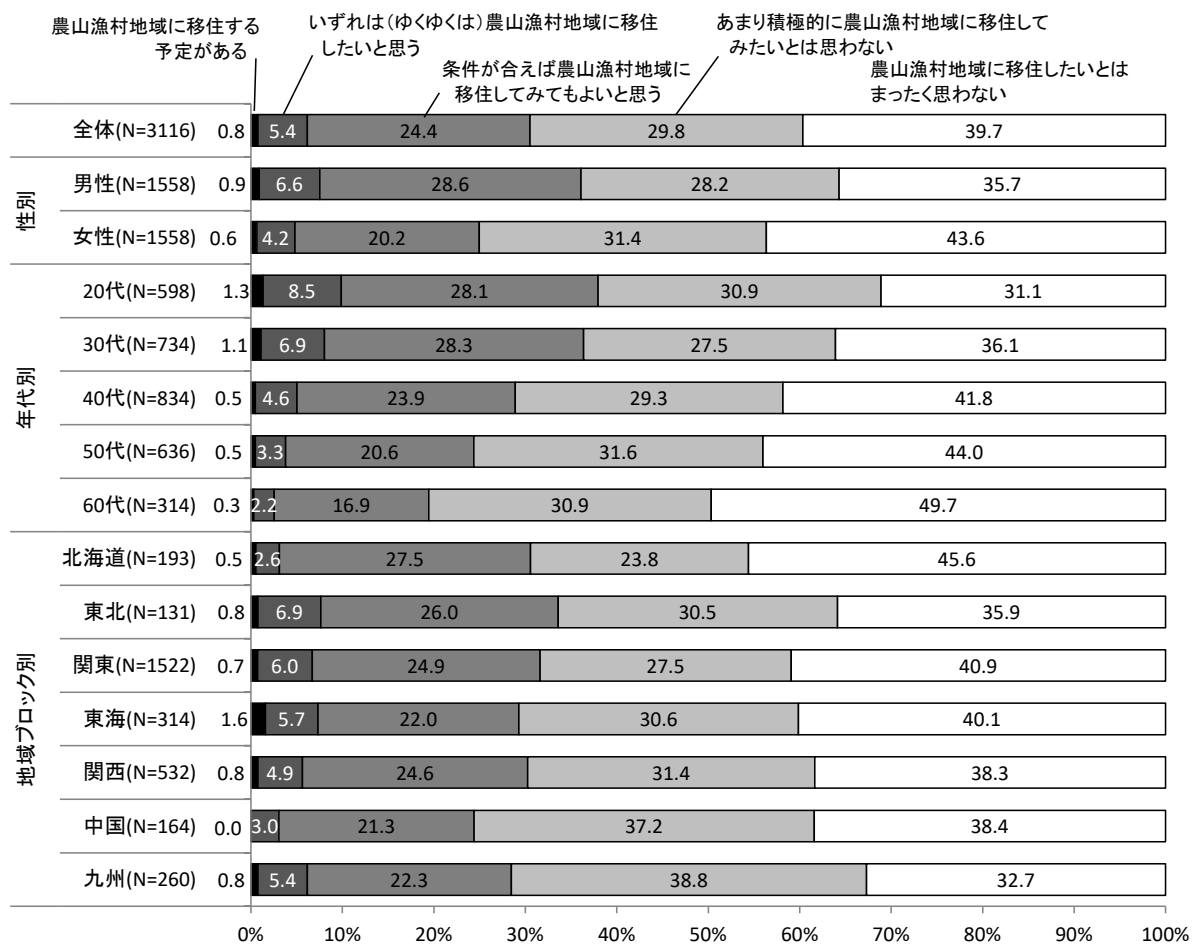
(4) 設問一覧

設 問	回答形式
問 1. あなたは、農山漁村地域のご出身ですか。	単一
問 2. あなたは、直近の5年間で、農山漁村地域をどのくらいの頻度で訪れていますか。	単一
問 3. 【問 2 で農山漁村地域を訪れていると回答した人のみ】 あなたが農山漁村地域を訪れる理由や目的は何ですか。	複数
問 4. あなたは、直近の5年間で、農山漁村地域に対して、直接訪れる以外に何か関わりを持っていますか。	複数
問 5. あなたは、子育てに適しているのは都市地域だと思いますか、それとも農山漁村地域だと思いますか。	単一
問 6. あなたは、現在お住いの地域の生活環境に満足していますか。	単一
問 7. あなたは、現在お住まいの地域に住み続けたいですか、それとも別の地域へ移住したいですか。	単一
問 8. 【問 7 で「どちらかといえば別の地域へ移住したい」・「別の地域へ移住したい」と回答した人のみ】 現在の地域との比較で考えた場合、どのような地域に移住をしたいですか。	複数
問 9. あなたは、農山漁村地域に移住してみたいと思いますか。あなたご自身のお考えとしてお答えください。	単一
問 10. 【問 9 で農山漁村地域への移住意向を示した人のみ】 あなたが移住したい(移住を予定している)農山漁村地域はどのような地域ですか。	複数
問 11. 【問 9 で農山漁村地域への移住意向を示した人のみ】 あなたは、いつ頃(どのようなタイミングで)農山漁村地域への移住を実現したいとお考えですか。 1. 農山漁村地域への移住を考えているタイミングについて全て挙げてください。 2. その中で、あなたが最も希望する移住のタイミングをひとつ選んでください。	複数 単一
問 12. 【問 9 で農山漁村地域への移住意向を示した人のみ】 あなたは、農山漁村地域に移住した場合、移住先ではどのくらい住む予定ですか。	単一
問 13. 【問 9 で農山漁村地域への移住意向を示した人のみ】 あなたが農山漁村地域に移住したいと思う理由は何ですか。	複数
問 14. 【問 9 で農山漁村地域への移住意向を示した人のみ】 あなたが農山漁村地域に移住する上で必要な条件は何ですか。 1. 農山漁村地域に移住する上で必要な条件をすべて挙げてください。 2. その中で、最も重視する条件をひとつ選んでください。	複数 単一
問 15. 【問 9 で農山漁村地域への移住意向を示した人のみ】 あなたは、農山漁村地域に移住したら、どのような仕事に就きたいですか。	複数
問 16. 【問 9 で農山漁村地域への移住意向を示した人のみ】 あなたは、農山漁村地域に移住したら、どのような暮らしをしたいですか。	複数
問 17. 【問 9 で農山漁村地域への移住意向を示した人のみ】 あなたは、農山漁村地域への移住に対し、何か不安や懸念をお持ちですか。	複数
問 18. 【問 9 で農山漁村地域への移住意向を示さなかった人のみ】 あなたが農山漁村地域に移住してみたいと思わないのはなぜですか。	複数
問 19. あなたは、農山漁村地域の自治体がどのような施策を行っていれば、先ほどご回答いただいたような農山漁村地域への移住に対する不安や懸念が解消され、移住してみたいと思うようになりますか。	複数
問 20. あなたは、移り住む以外の方法で、今後農山漁村地域とどのような関わりを持ちたいとお考えになりますか。	複数

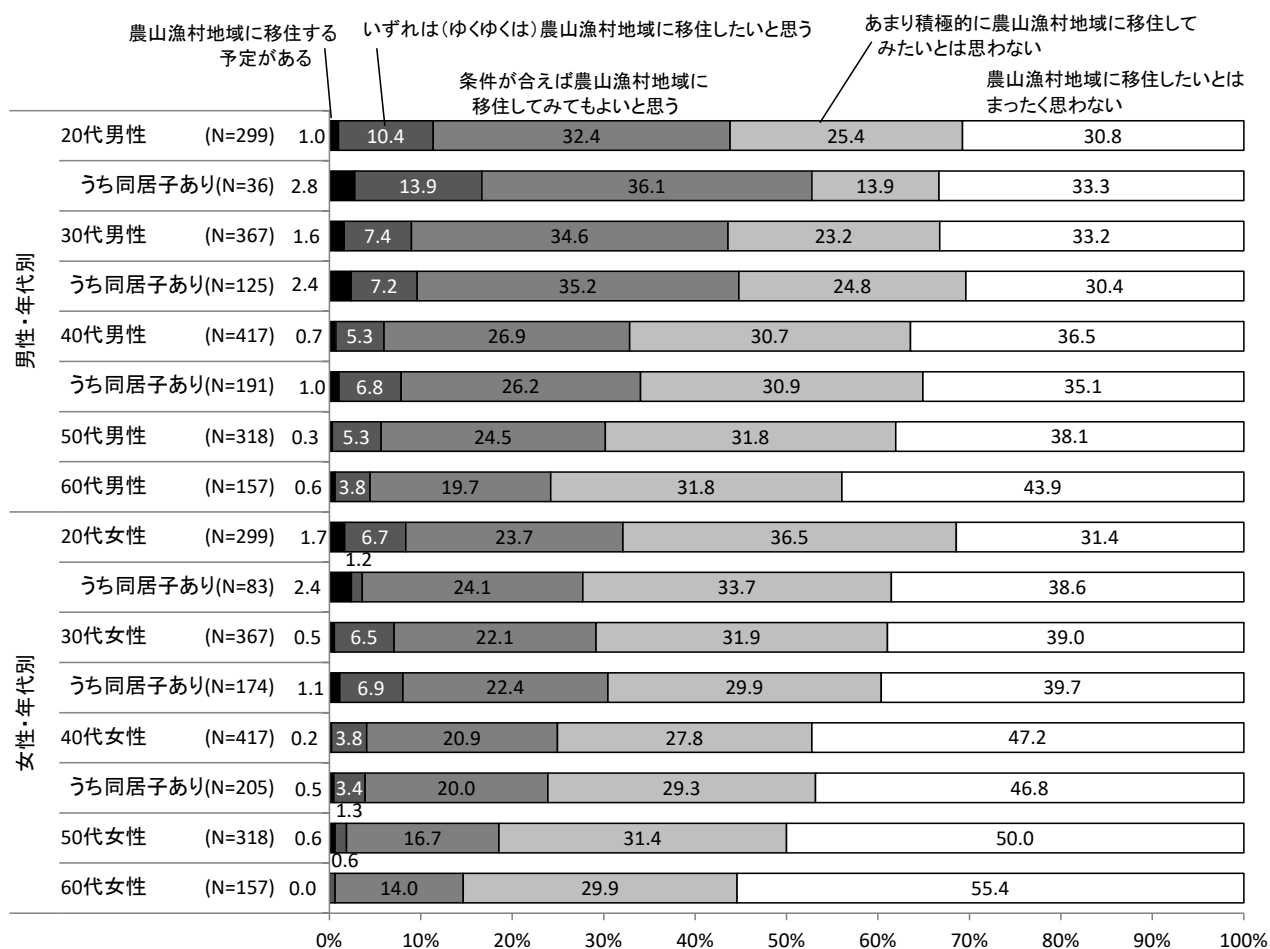
2-2. 調査結果（抜粋）

問9. あなたは、農山漁村地域に移住してみたいと思いますか。あなたご自身のお考えとしてお答えください。（〇はひとつ）

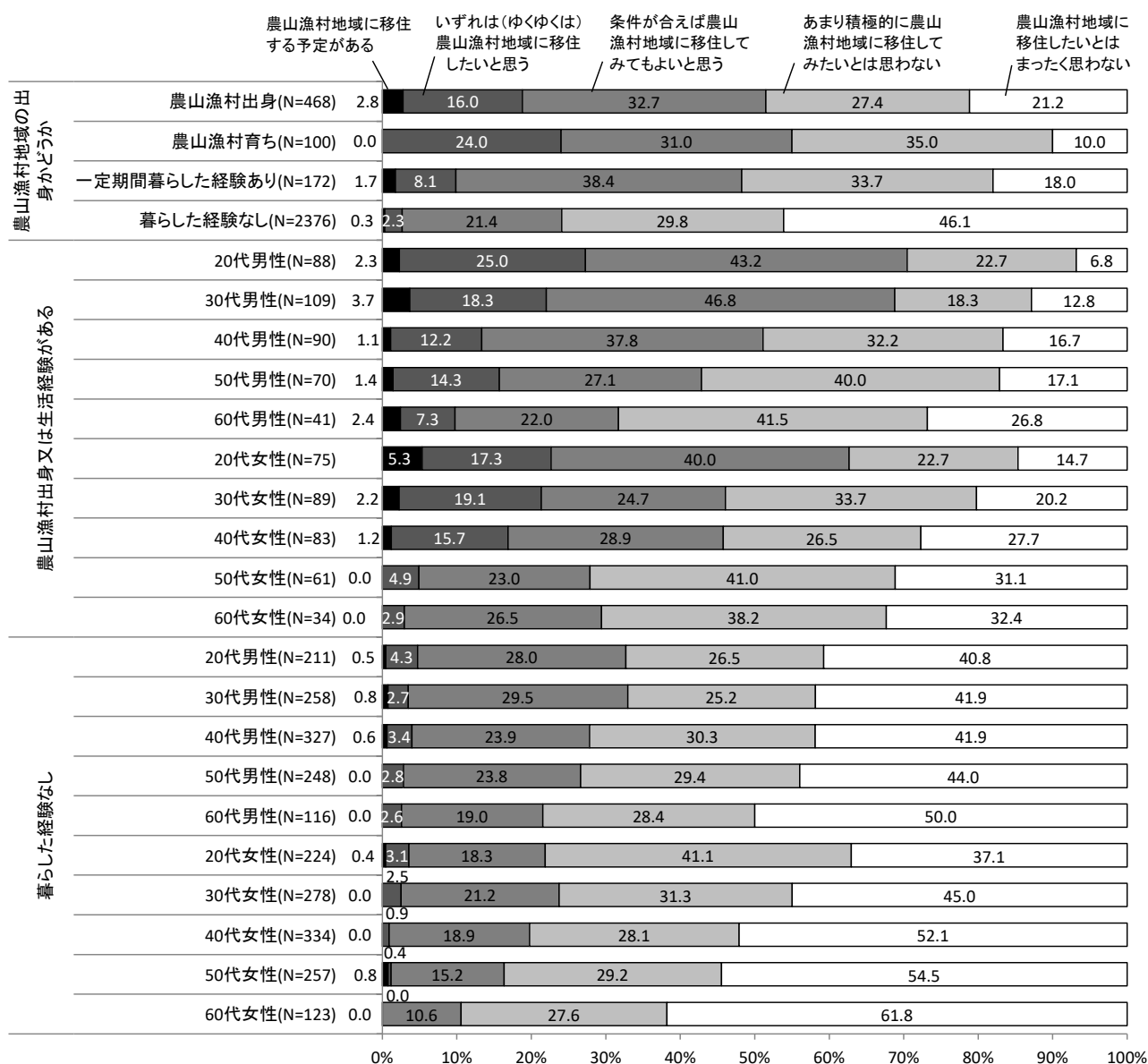
- ▶ 全体で、農山漁村地域に移住してみたいと回答した割合は、「農山漁村地域に移住する予定がある」(0.8%)、「いずれは(ゆくゆくは)農山漁村地域に移住したいと思う」(5.4%)及び「条件が合えば農山漁村地域に移住してみてもよいと思う」(24.4%)を合わせた30.6%である。
- ▶ 男女別でみると、男性の方が女性よりも農山漁村地域へ移住してみたいと回答した割合が高い。
- ▶ 年代別では、若い世代の方が、農山漁村地域へ移住してみたいと回答した割合が高い。
- ▶ 地域ブロック別でみると、北海道、東北、関東及び関西では、農山漁村地域へ移住してみたいと回答した割合が3割以上ある。



- ▶ 性別・年代別でみると、20代及び30代男性では、農山漁村地域へ移住してみたいと回答した割合が4割以上で、ほぼ同じ割合となっており、他の年代と比べて高い。一方女性では、20代で農山漁村地域へ移住してみたいと回答した割合が、他の年代と比べて高い。また、20代～40代の男女で、同居の子がいる場合をみると、20代～40代男性、30代女性では、農山漁村地域へ移住してみたいと回答した割合が高い。



- ▶ 農山漁村地域の出身かどうかでみると、農山漁村地域へ移住してみたいと回答した割合は、農山漁村地域で生まれてはいないが、幼少期はおおむね農山漁村地域で育った者（以下、「農山漁村育ち」）が 55.0%で、最も割合が高い。その一方、農山漁村地域の出身ではなく暮らした経験もない者（以下、「暮らした経験なし」）は、農山漁村地域へ移住したいと回答した割合が 24.0%で最も割合が低い。
- ▶ 農山漁村地域出身又は生活経験がある者をみると、20代及び30代男性の約70%、20代女性の約60%が農山漁村地域へ移住してみたいと回答しており、他の年代と比べて割合が高い。
- ▶ 暮らした経験なしの者をみると、全体の傾向と同様に、若い世代の方が、農山漁村地域へ移住してみたいと回答した割合が高い。

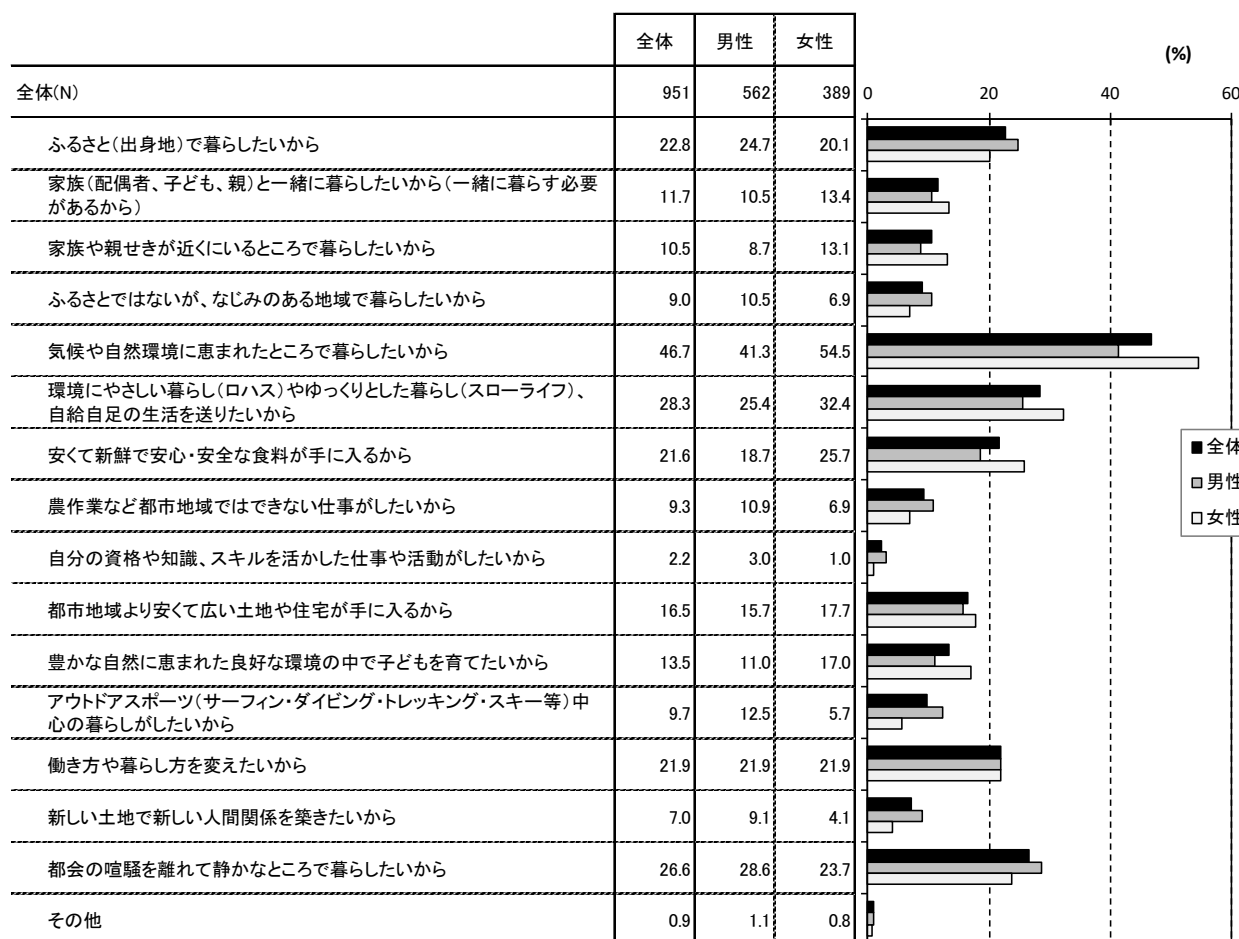


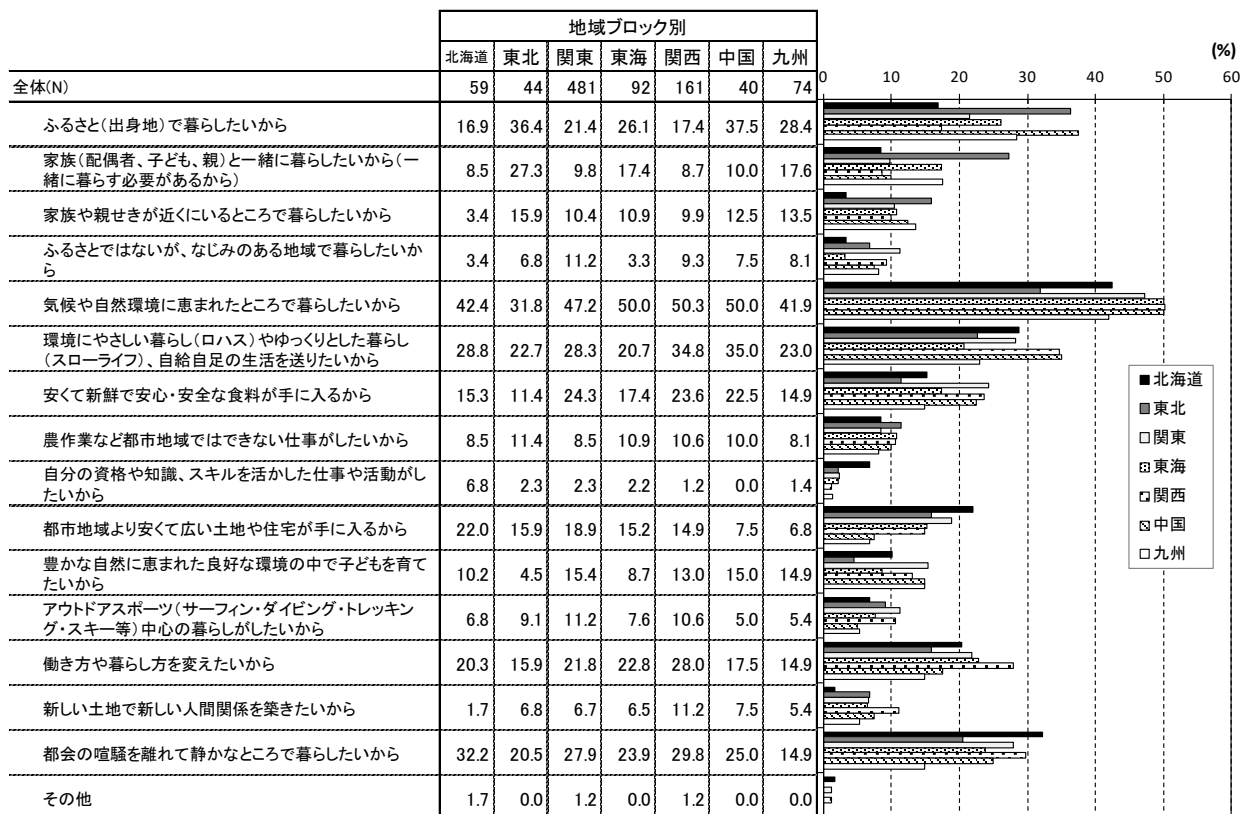
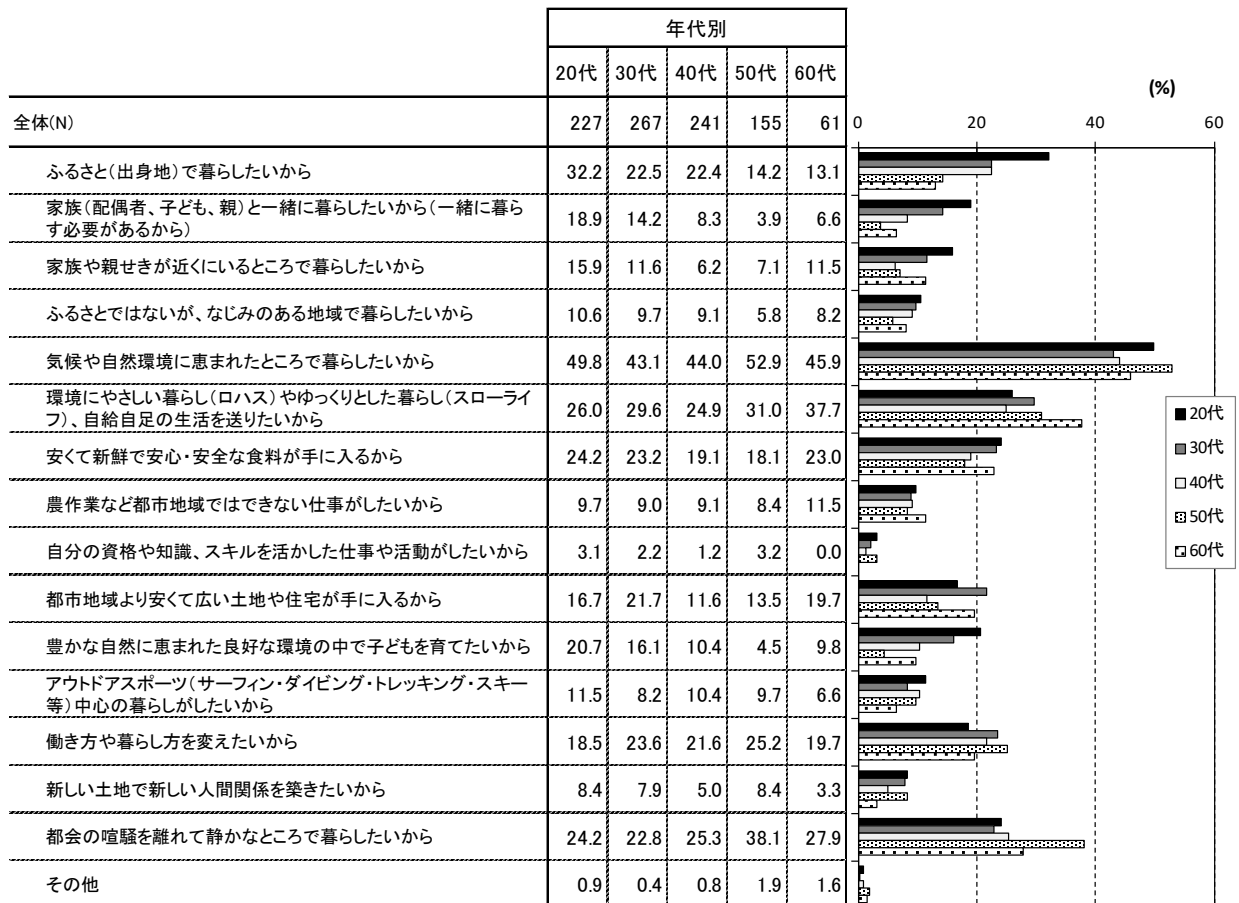
「農山漁村出身」・・・農山漁村地域の出身
「農山漁村育ち」・・・農山漁村地域で生まれてはいないが、幼少期はおおむね農山漁村地域で育った
「一定期間暮らした経験あり」・・・生まれ育ちは農山漁村地域ではないが、一定期間農山漁村地域で暮らした経験がある
「暮らした経験なし」・・・農山漁村地域の出身ではなく、暮らした経験もない
「農山漁村出身又は生活経験がある」・・・「農山漁村出身」、「農山漁村育ち」及び「一定期間暮らした経験あり」の合計。

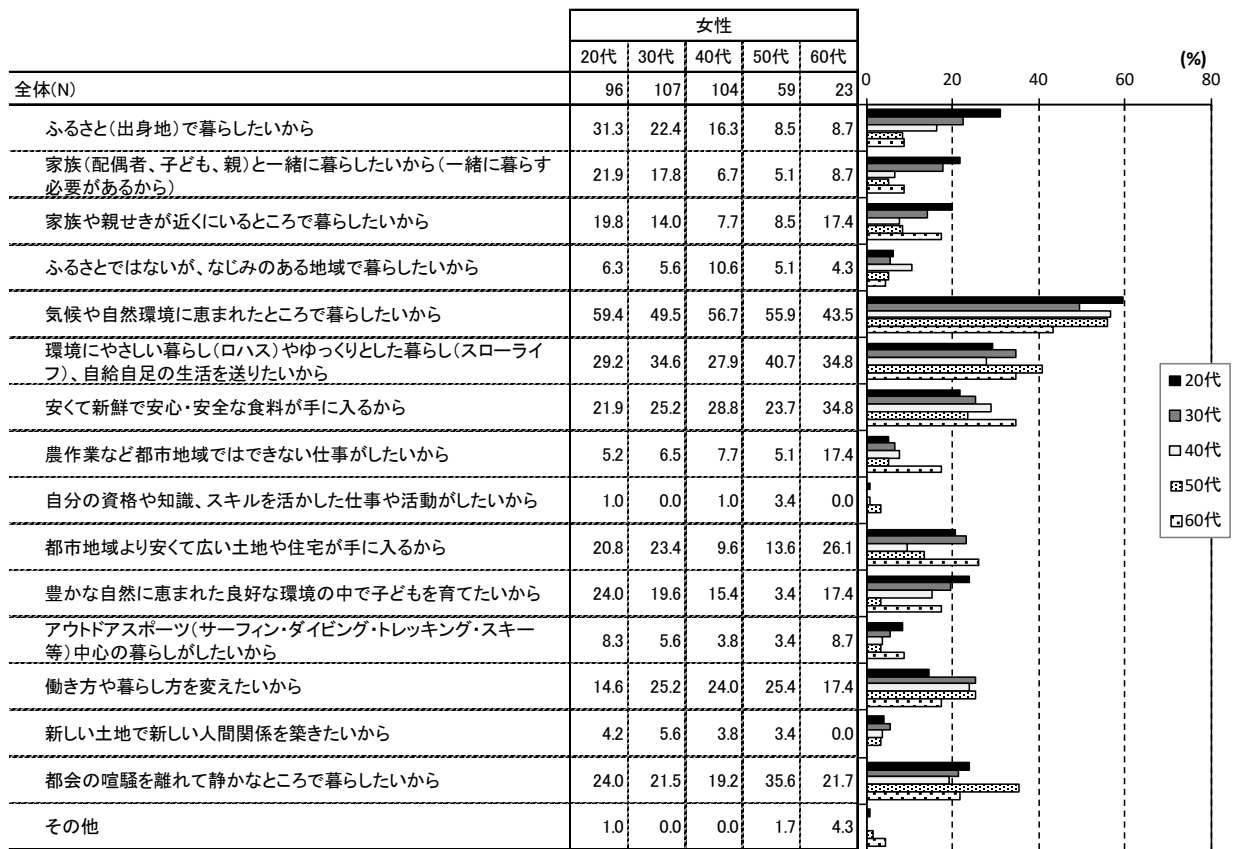
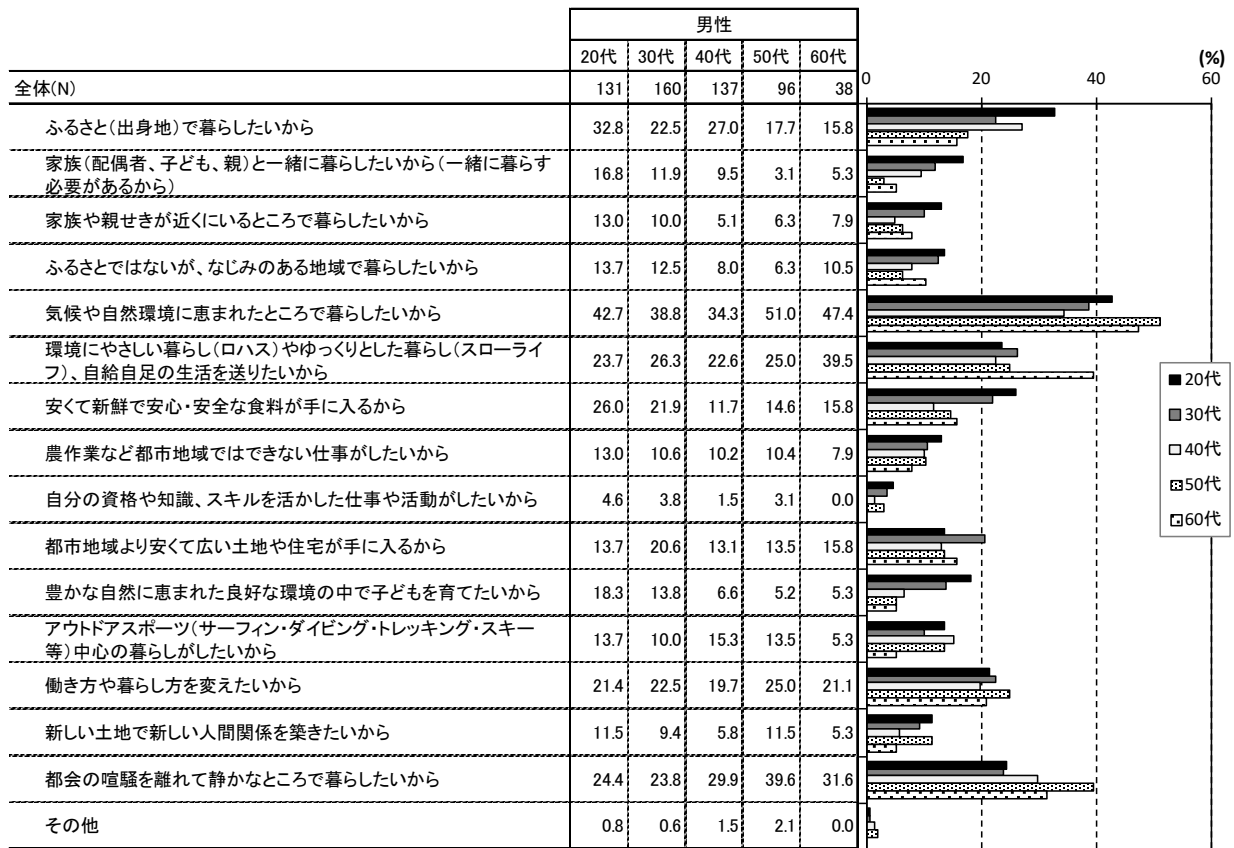
【問 13、問 14 は、問 9 で農山漁村地域に移住してみたいと回答した者のみ】

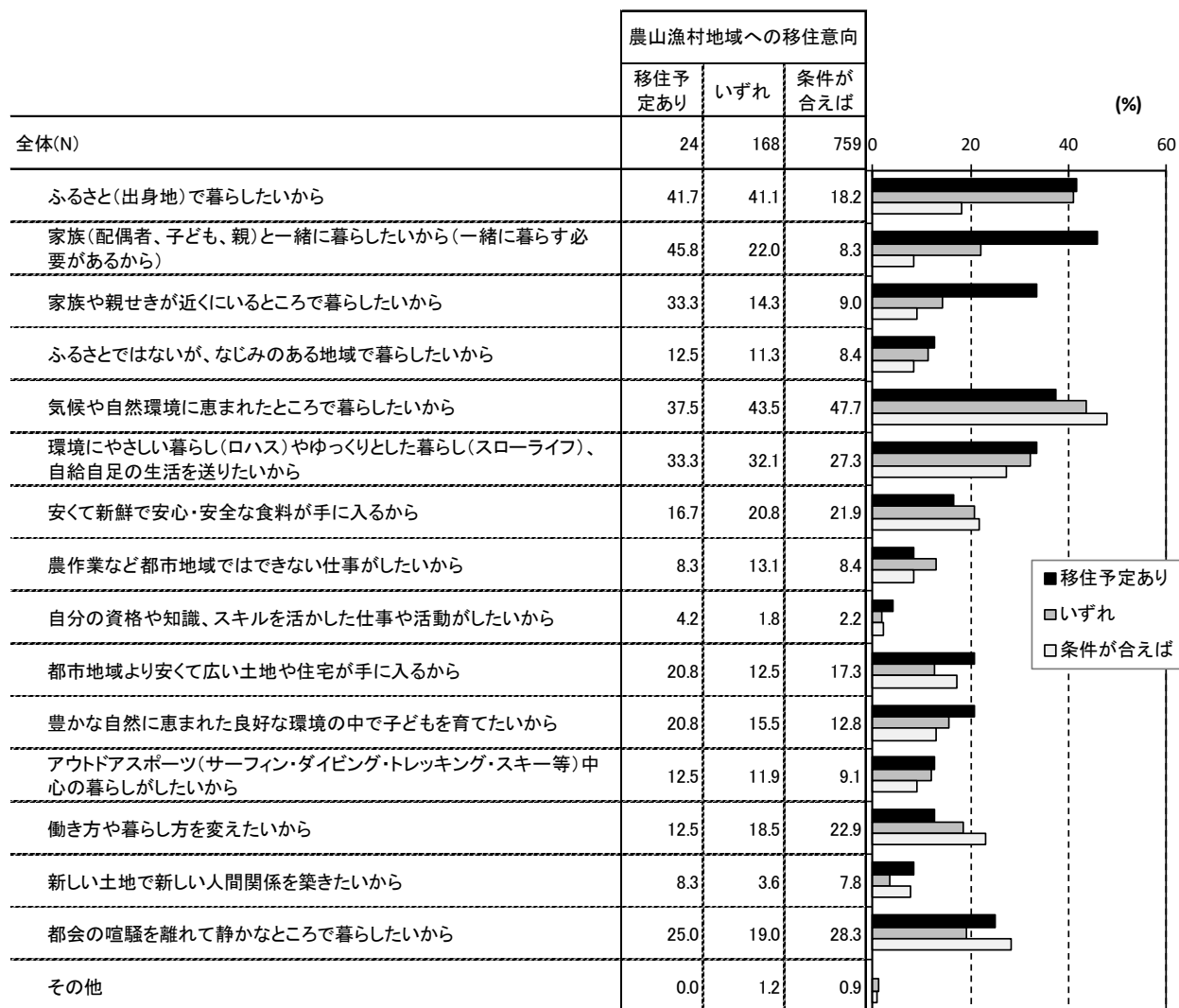
問 13. あなたが農山漁村地域に移住したいと思う理由は何ですか。(〇はいくつでも)

- ▶ 全体では、「気候や自然環境に恵まれたところで暮らしたいから」が 46.7%であり最も高く、次いで、「環境にやさしい暮らし(ロハス) やゆっくりとした暮らし(スローライフ)、自給自足の生活を送りたいから」が 28.3%、「都会の喧騒を離れて静かなところで暮らしたいから」が 26.6%と続いている。
- ▶ 男女別でみると、「ふるさと(出身地)で暮らしたいから」は男性の方が、「安くて新鮮で安心・安全な食料が手に入るから」は女性の方が高い割合となっている。
- ▶ 年代別でみると、50代では、「気候や自然環境に恵まれたところで暮らしたいから」が5割以上、「都会の喧騒を離れて静かなところで暮らしたいから」は4割近くあり、他の年代と比べて割合が高い。また、若い世代ほど「ふるさと(出身地)で暮らしたいから」の割合が高い。
- ▶ 性別・年代別でみると、男女ともに全ての年代で、「気候や自然環境に恵まれたところで暮らしたいから」の割合が最も高い。次いで、40代及び50代男性では、「都会の喧騒を離れて静かなところで暮らしたいから」が、30代、50代及び60代女性では、「環境にやさしい暮らし(ロハス) やゆっくりとした暮らし(スローライフ)、自給自足の生活を送りたいから」の割合が高い。
- ▶ 農山漁村地域への移住意向の程度別でみると、移住予定がある者では、「家族と一緒に暮らしたいから」の割合が最も高く、次いで「ふるさと(出身地)で暮らしたいから」が続いている。また、条件が合えば移住してもよいとする者は、「気候や自然環境に恵まれたところで暮らしたいから」の割合が最も高い。









「移住予定あり」・・・農山漁村地域に移住する予定がある

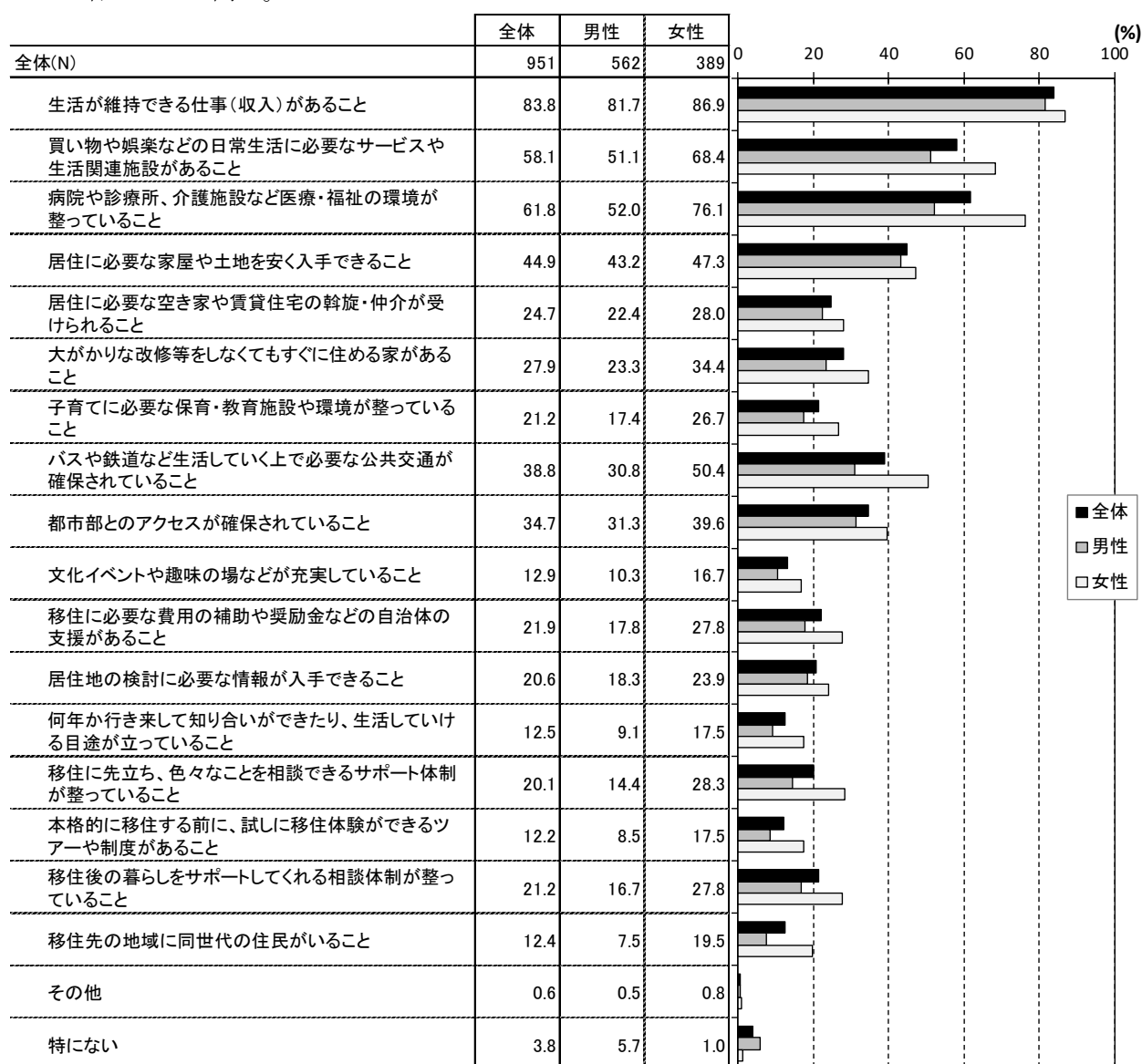
「いずれ」・・・いずれは(ゆくゆくは)農山漁村地域に移住したいと思う

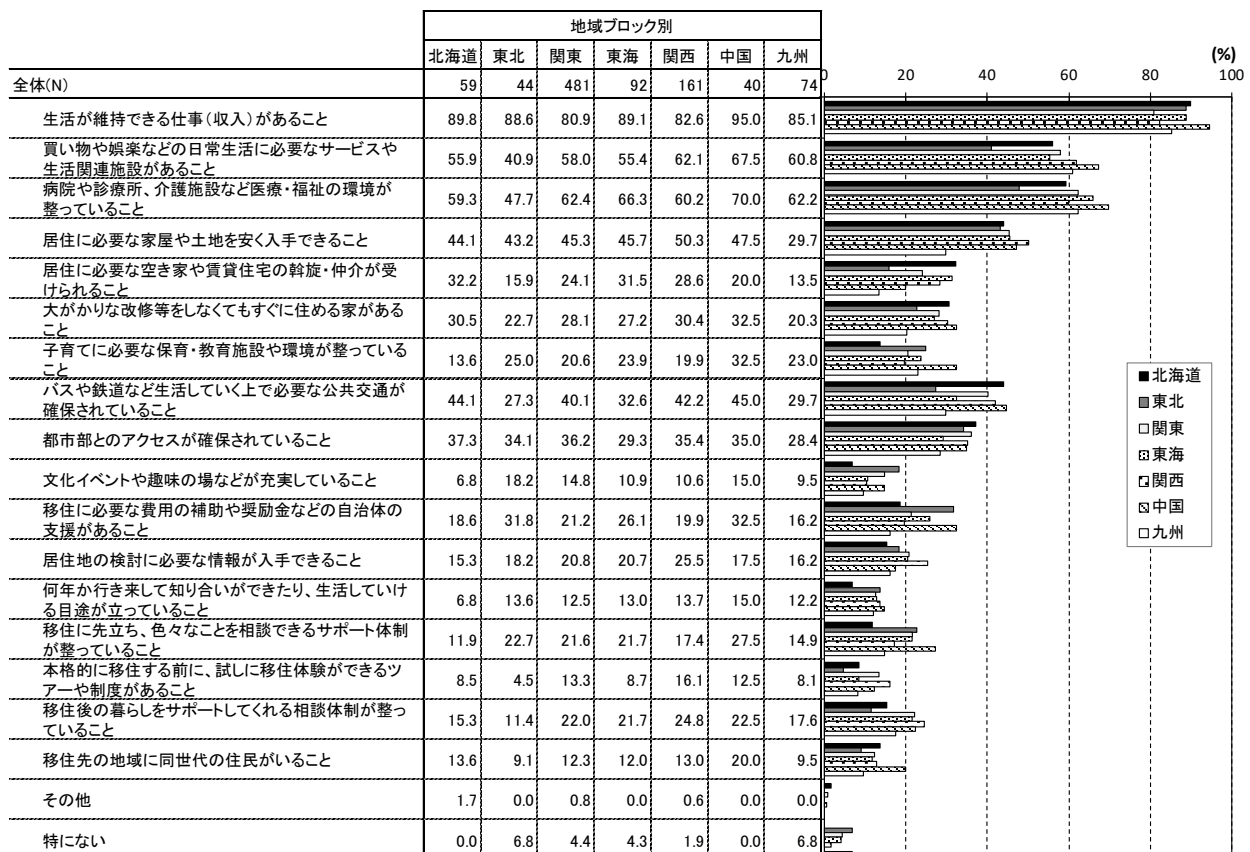
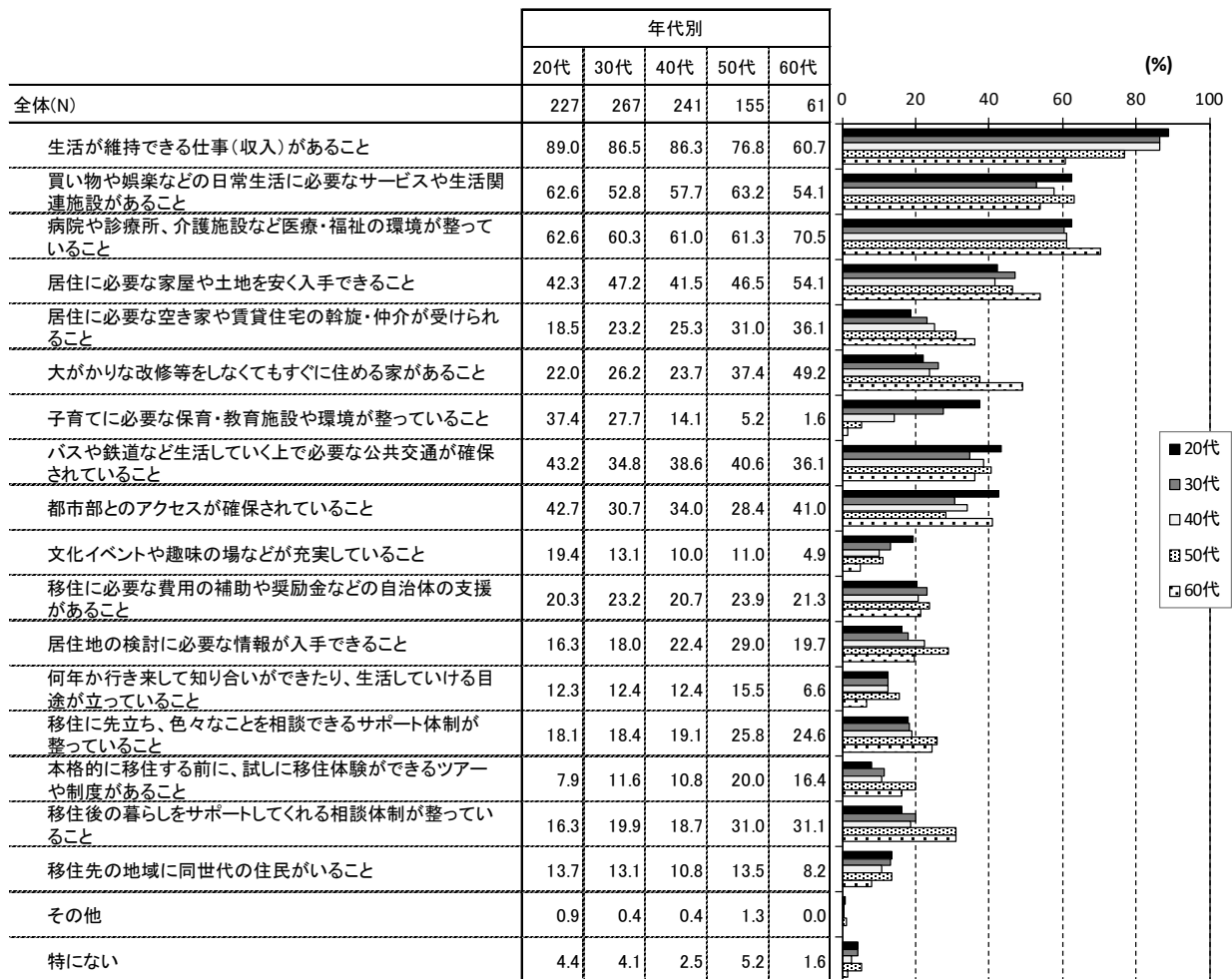
「条件が合えば」・・・条件が合えば農山漁村地域に移住してみてもよいと思う

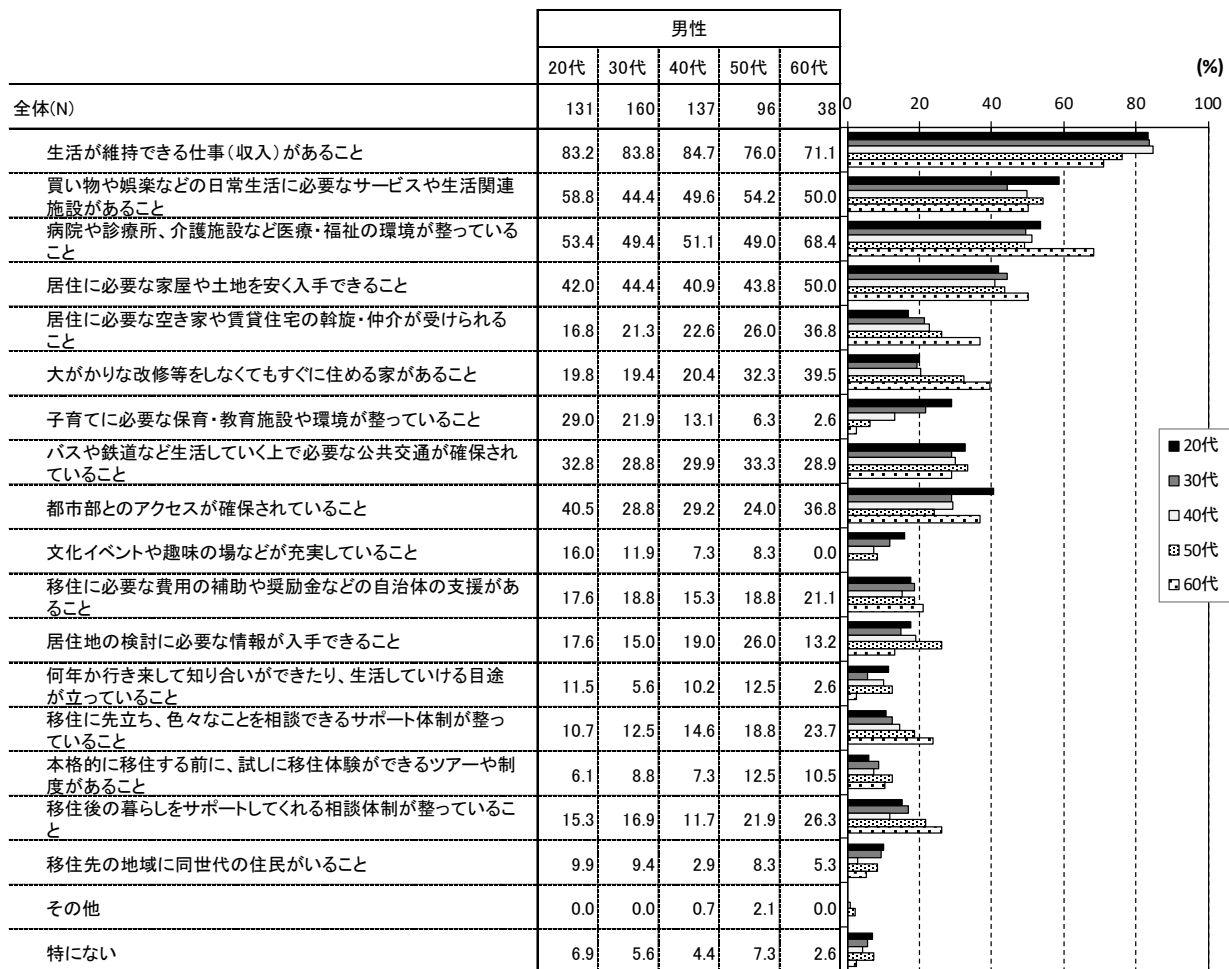
問 14. あなたが農山漁村地域に移住する上で必要な条件は何ですか。

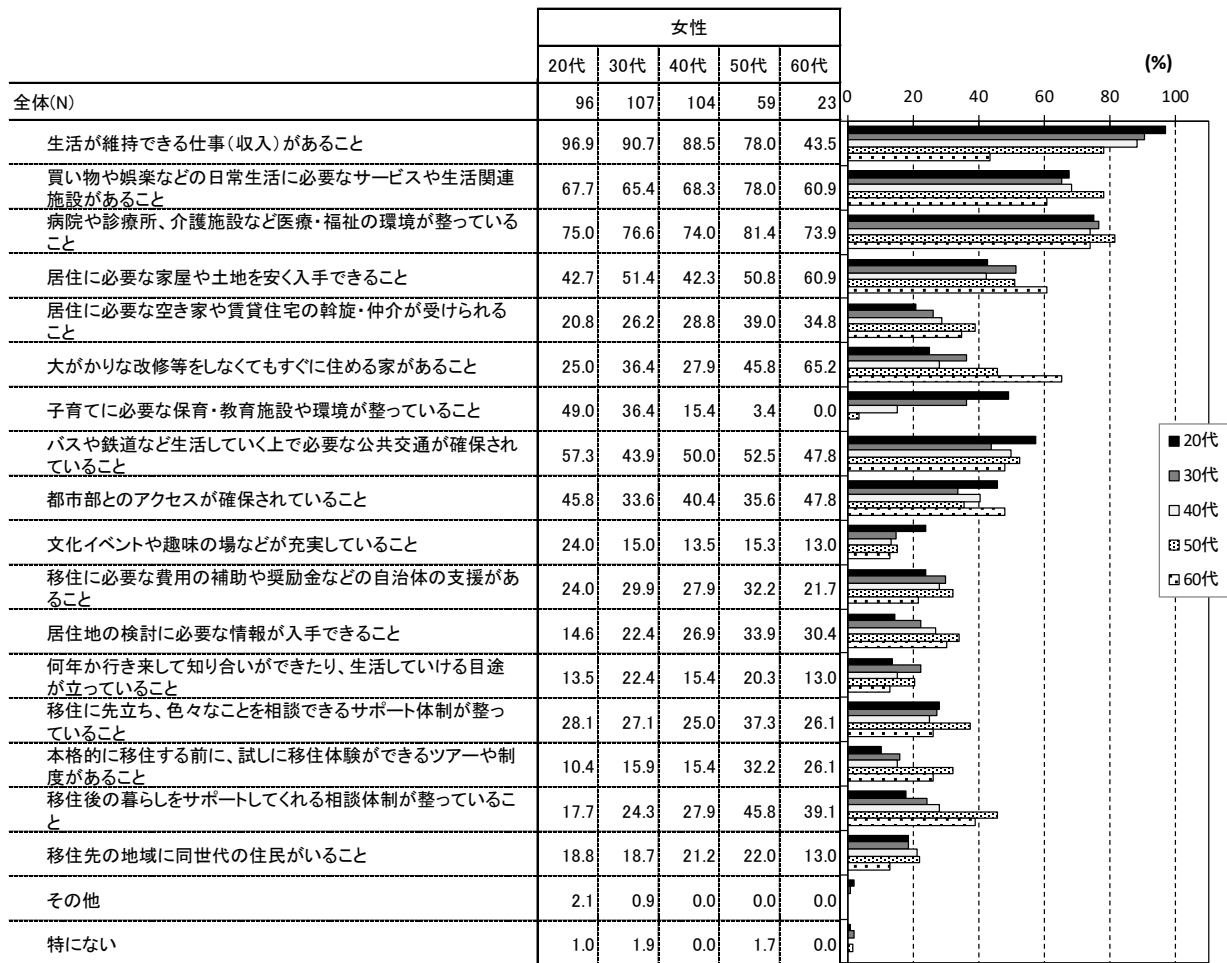
1. 農山漁村地域に移住する上で必要な条件をすべて挙げてください。(〇はいくつでも)

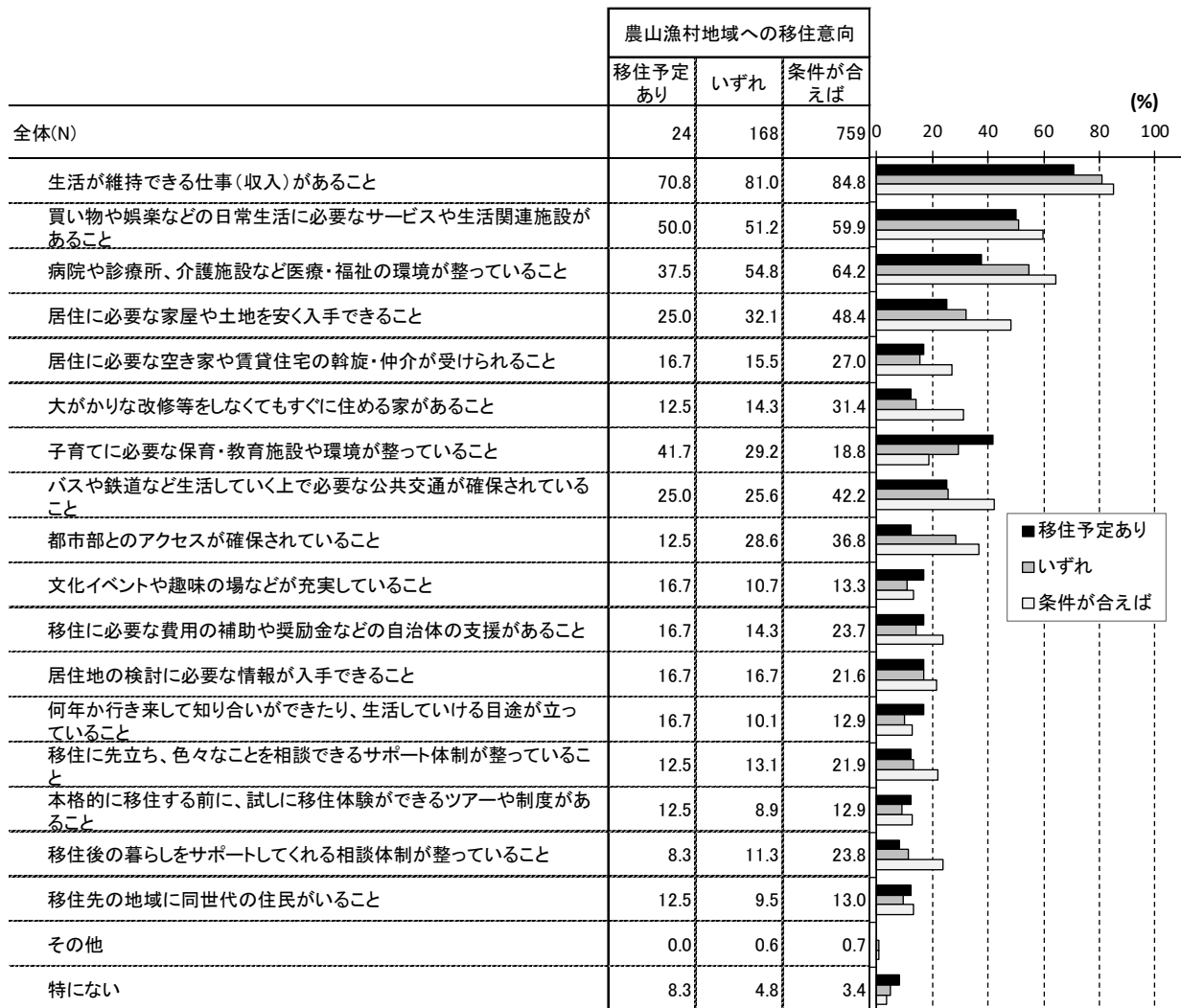
- ▶ 全体では、「生活が維持できる仕事（収入）があること」が 83.8%と最も割合が高く、次いで、「病院や診療所、介護施設など医療・福祉の環境が整っていること」が 61.8%、「買い物や娯楽などの日常生活に必要なサービスや生活関連施設があること」が 58.1%と続いている。
- ▶ 男女別でみると、女性では「病院や診療所、介護施設など医療・福祉の環境が整っていること」、「買い物や娯楽などの日常生活に必要なサービスや生活関連施設があること」及び「バスや鉄道など生活していく上で必要な公共交通が確保されていること」の割合が男性より高い。
- ▶ 性別・年代別でみると、20代及び30代女性は「子育てに必要な保育・教育施設や環境が整っていること」の割合が同年代の男性と比べて高い。
- ▶ 農山漁村地域への移住意向の程度別でみると、条件が合えば移住してもよいとする者は、「居住に必要な家屋や土地を安く入手できること」、「バスや鉄道など生活していく上で必要な公共交通が確保されていること」、「都市部とのアクセスが確保されていること」の割合が、他の移住意向の者と比べて高い。











「移住予定あり」・・・農山漁村地域に移住する予定がある

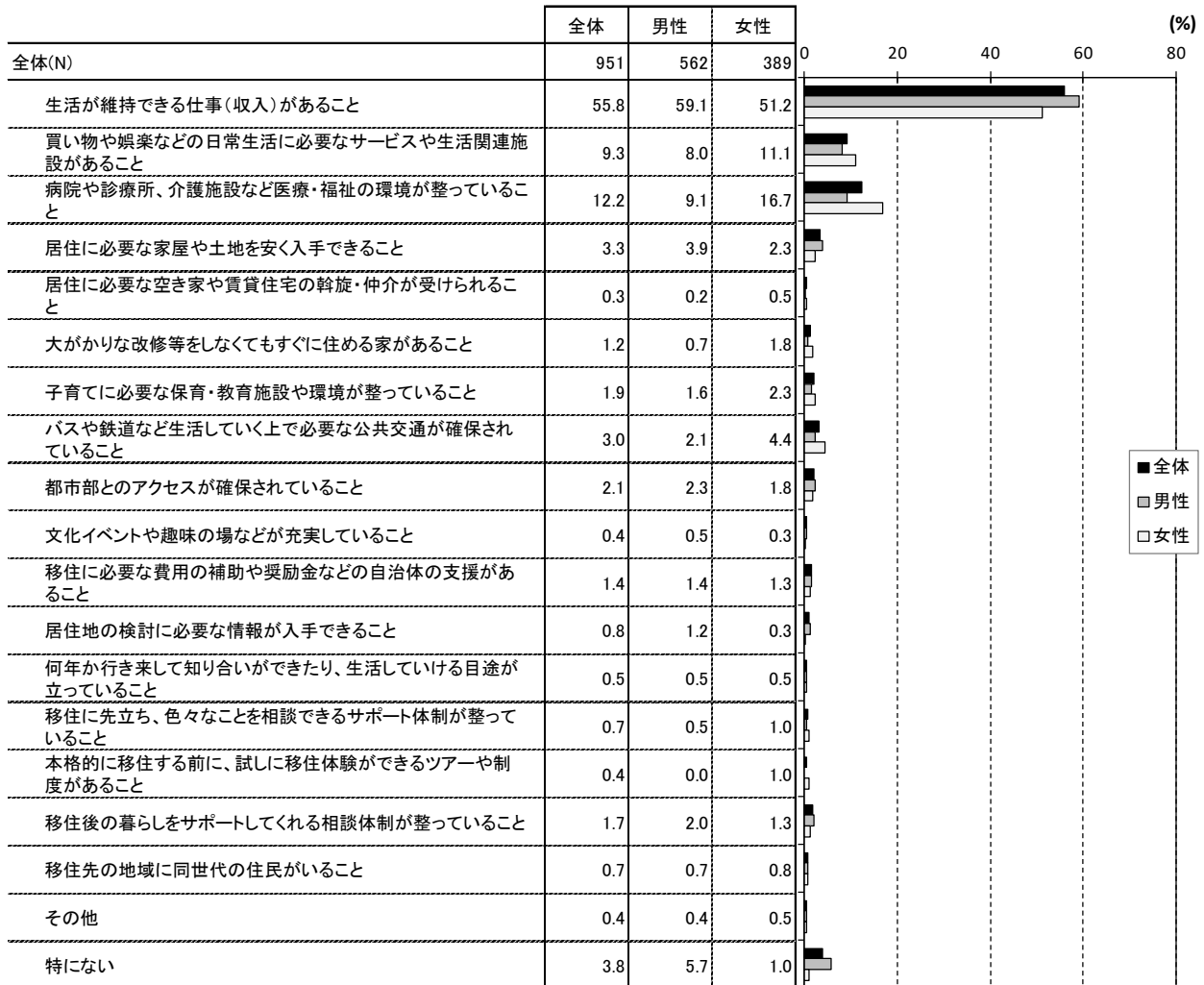
「いずれ」・・・いずれは(ゆくゆくは)農山漁村地域に移住したいと思う

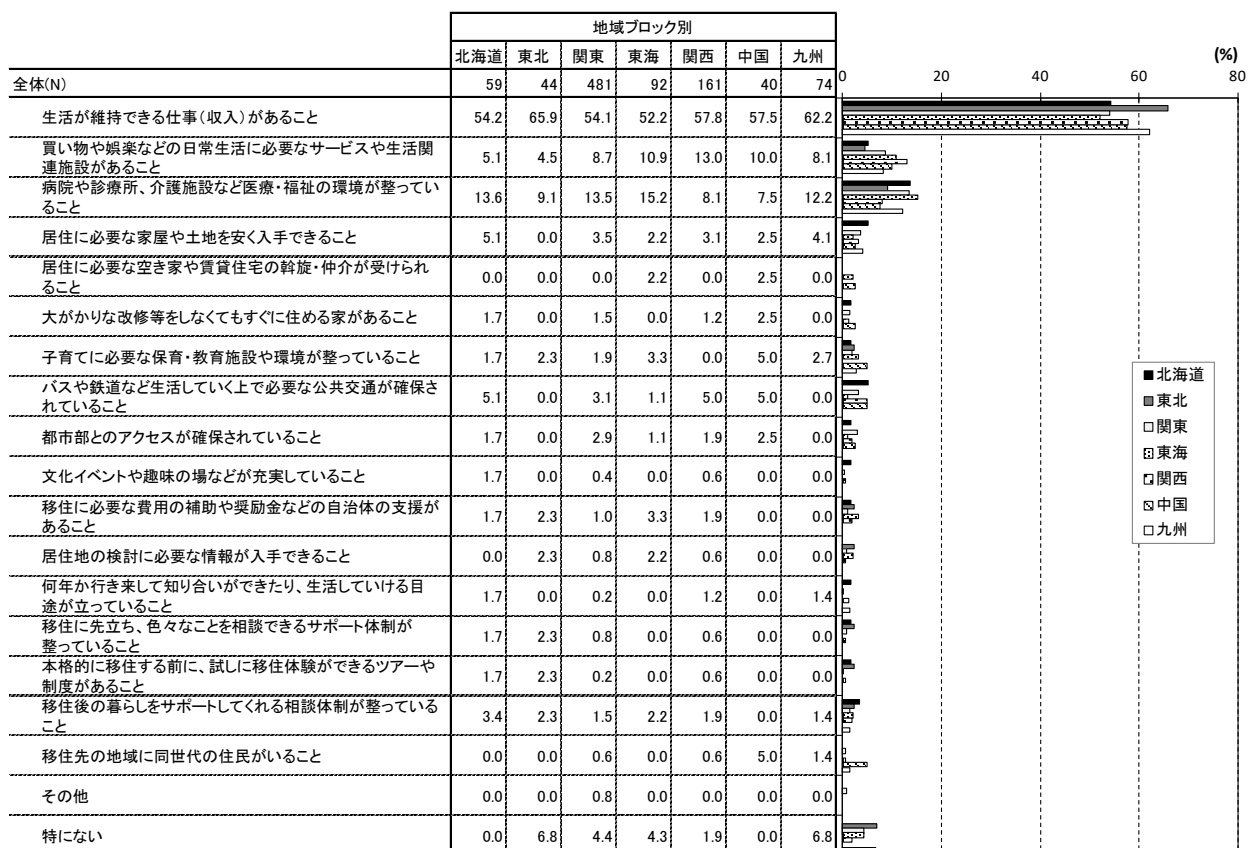
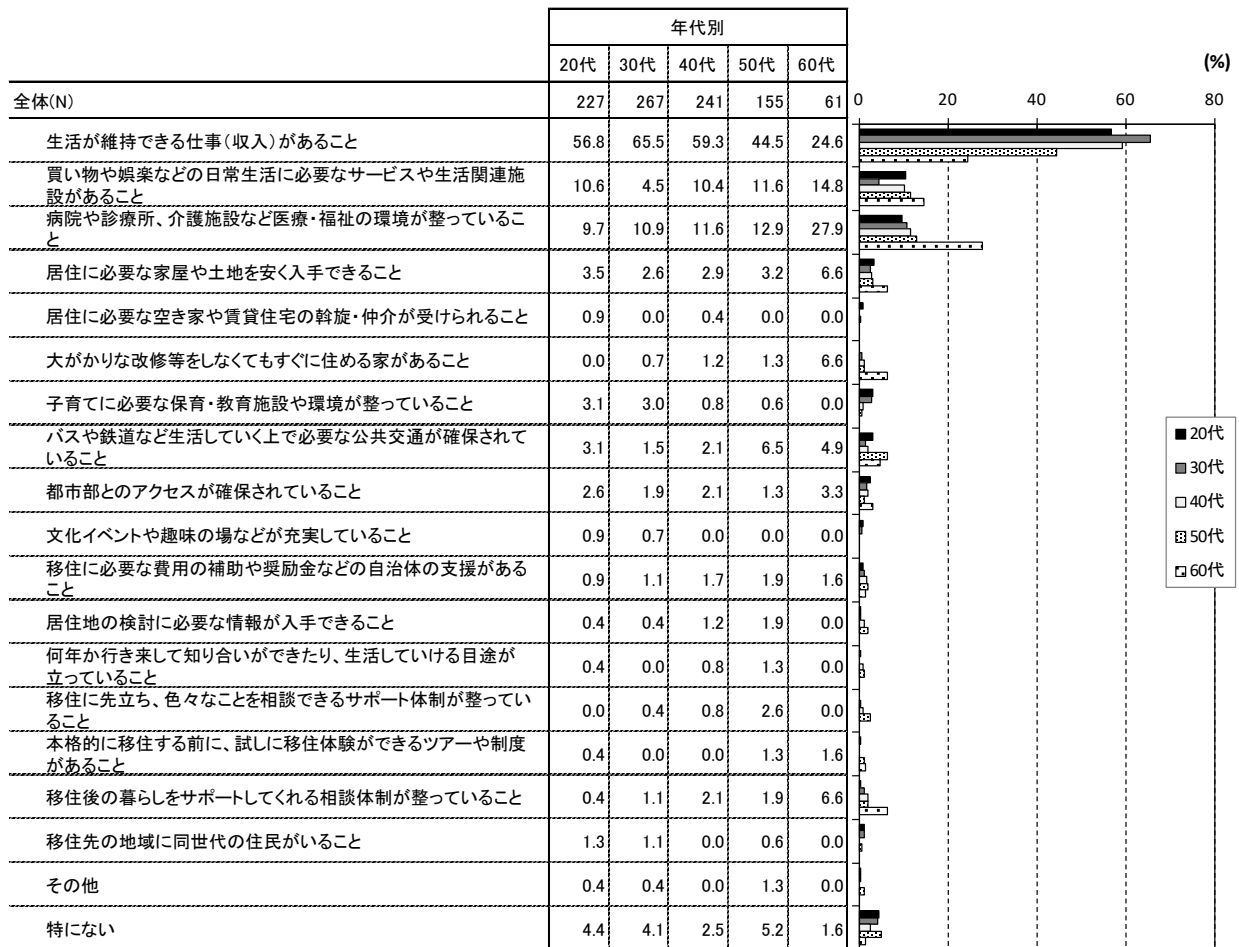
「条件が合えば」・・・条件が合えば農山漁村地域に移住してみてもよいと思う

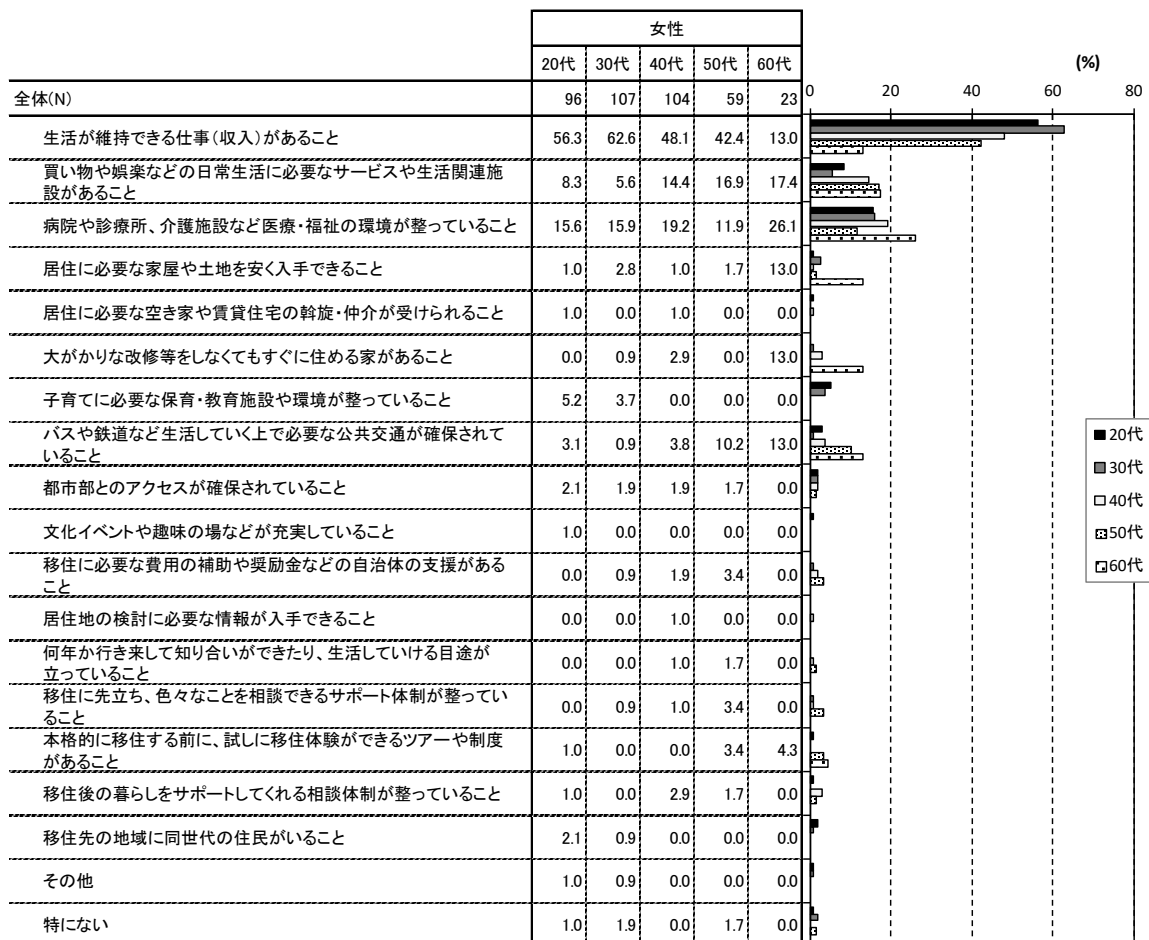
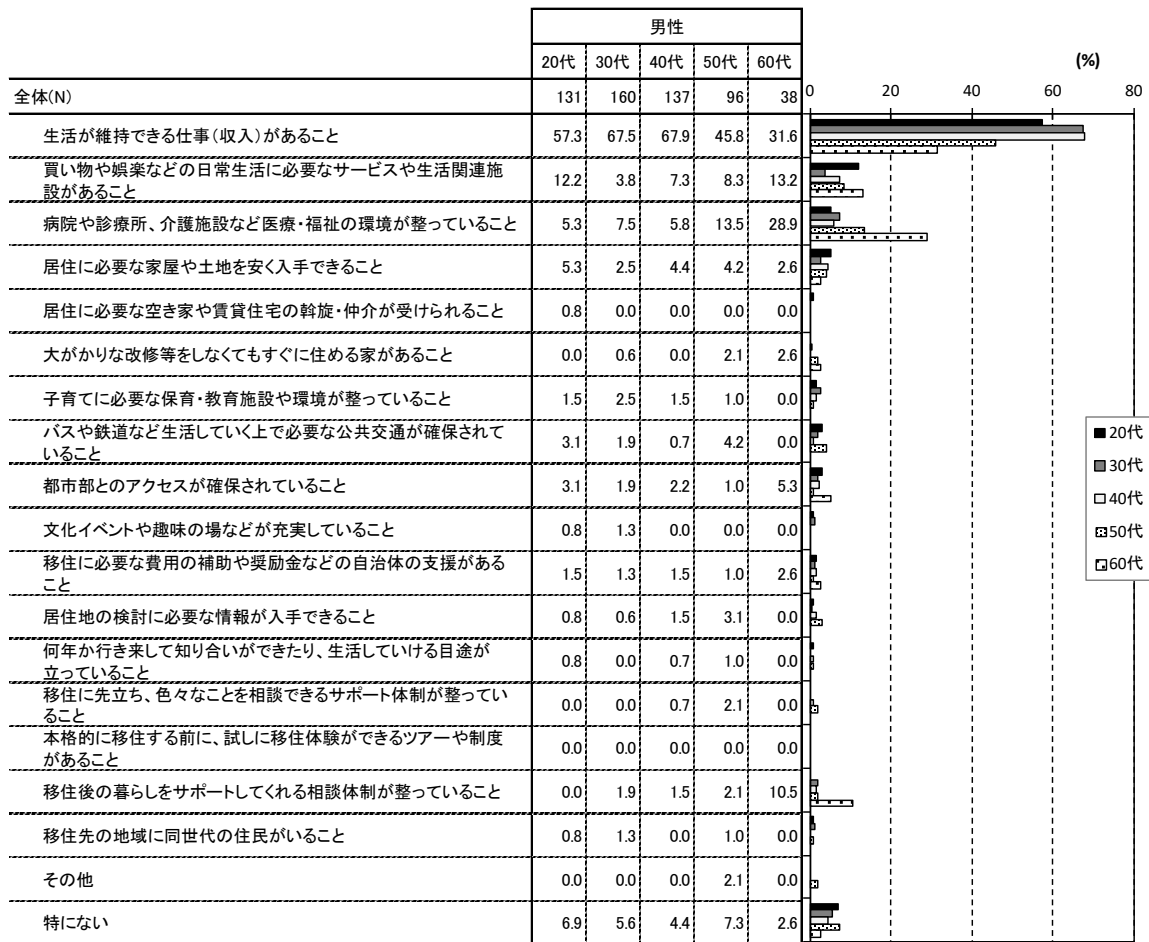
問 14. あなたが農山漁村地域に移住する上で必要な条件は何ですか。

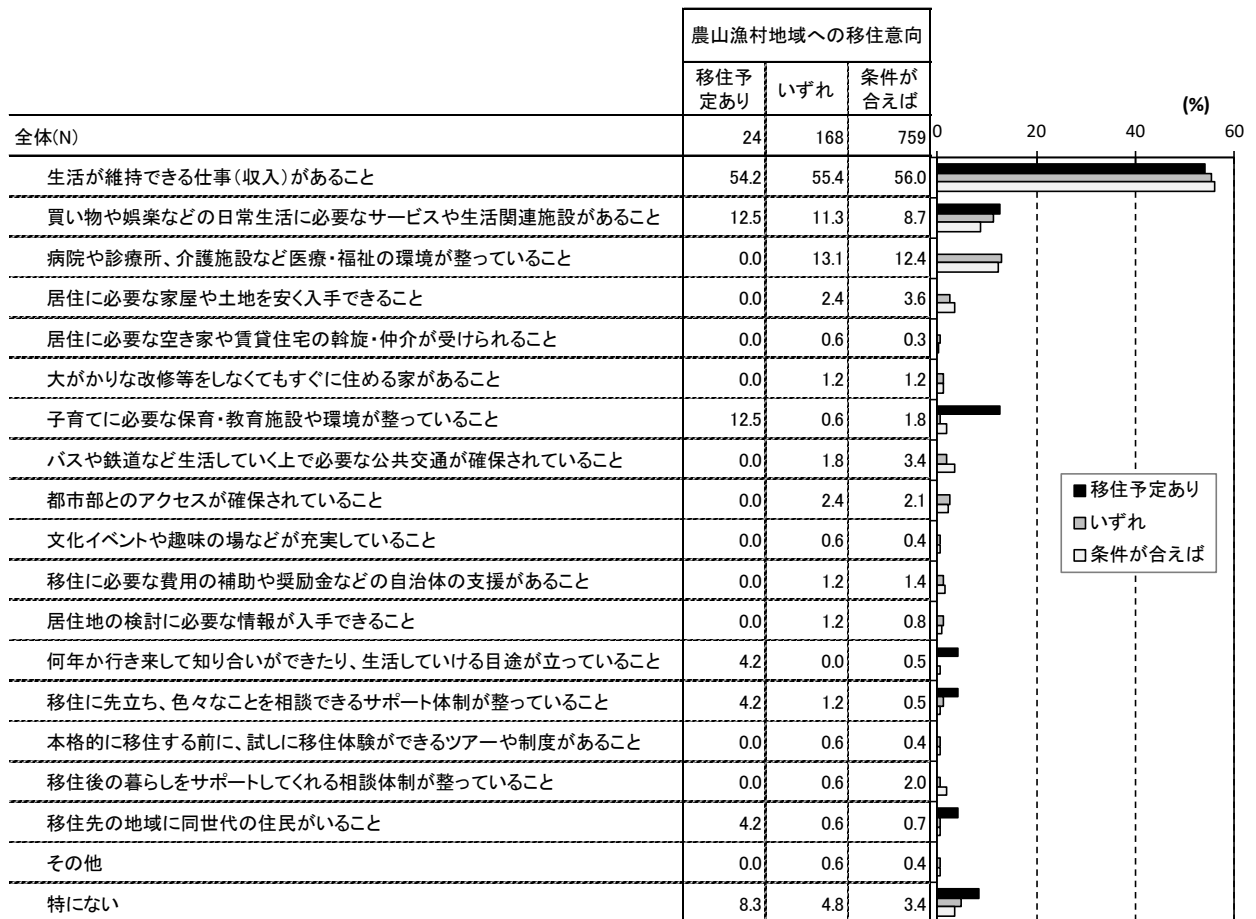
2. その中で、最も重視する条件をひとつ選んでください。(〇はひとつ)

- ▶ 全体では、「生活が維持できる仕事（収入）があること」が5割超あり、他の項目と比べると突出して割合が高い。
- ▶ 年代別で見ると、「生活が維持できる仕事（収入）があること」は若い世代ほど高く、30代が最も高い。
- ▶ 地域ブロック別で見ると、東北及び九州では、「生活が維持できる仕事（収入）があること」の割合が6割を超えており、他の地域ブロックと比べて高い。
- ▶ 性別・年代別で見ると、20代～50代男女ともに、「生活が維持できる仕事（収入）があること」の割合が最も高い。また、60代女性では、「病院や診療所、介護施設など医療・福祉の環境が整っていること」の割合が最も高い。
- ▶ 農山漁村地域への移住意向の程度別で見ると、条件が合えば移住してもよいとする者は、「生活が維持できる仕事（収入）があること」の割合が最も高く、次いで、「病院や診療所、介護施設など医療・福祉の環境が整っていること」が続いている。







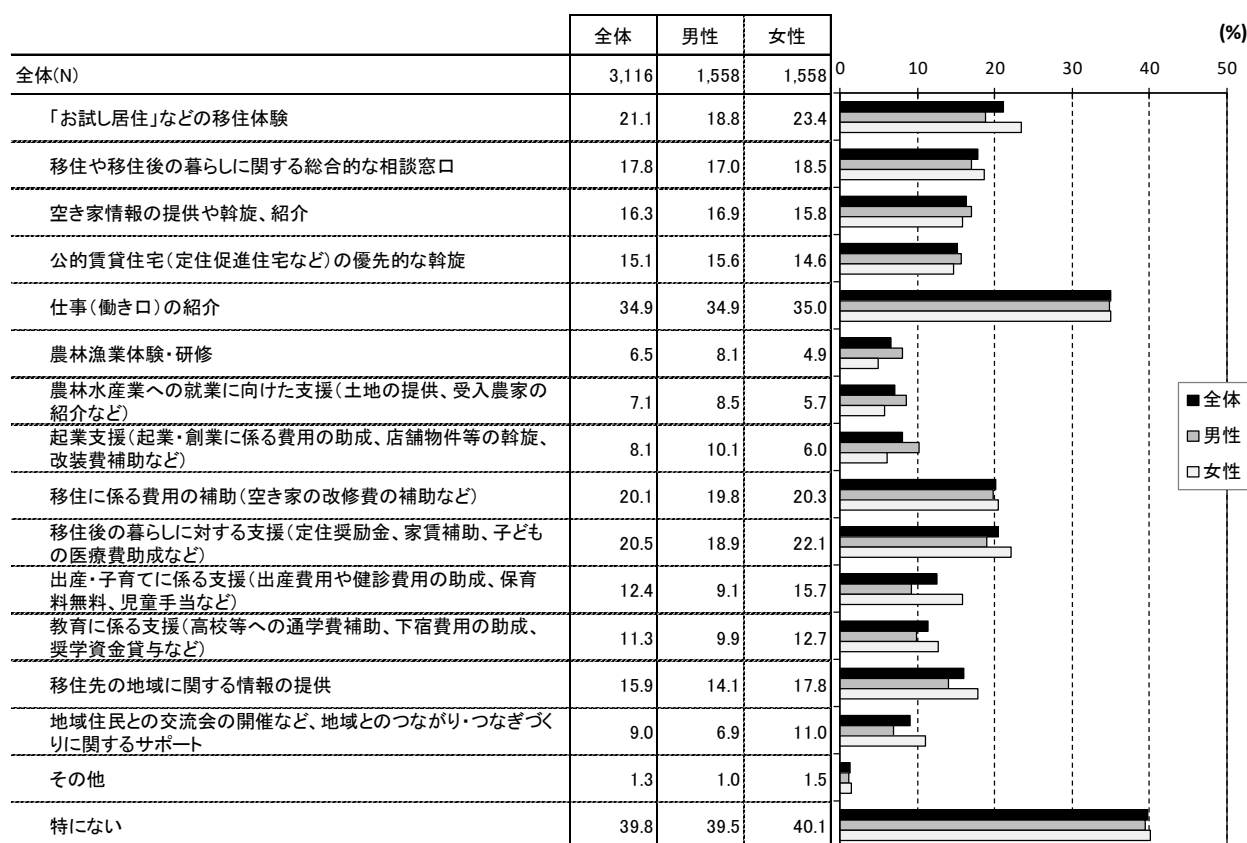


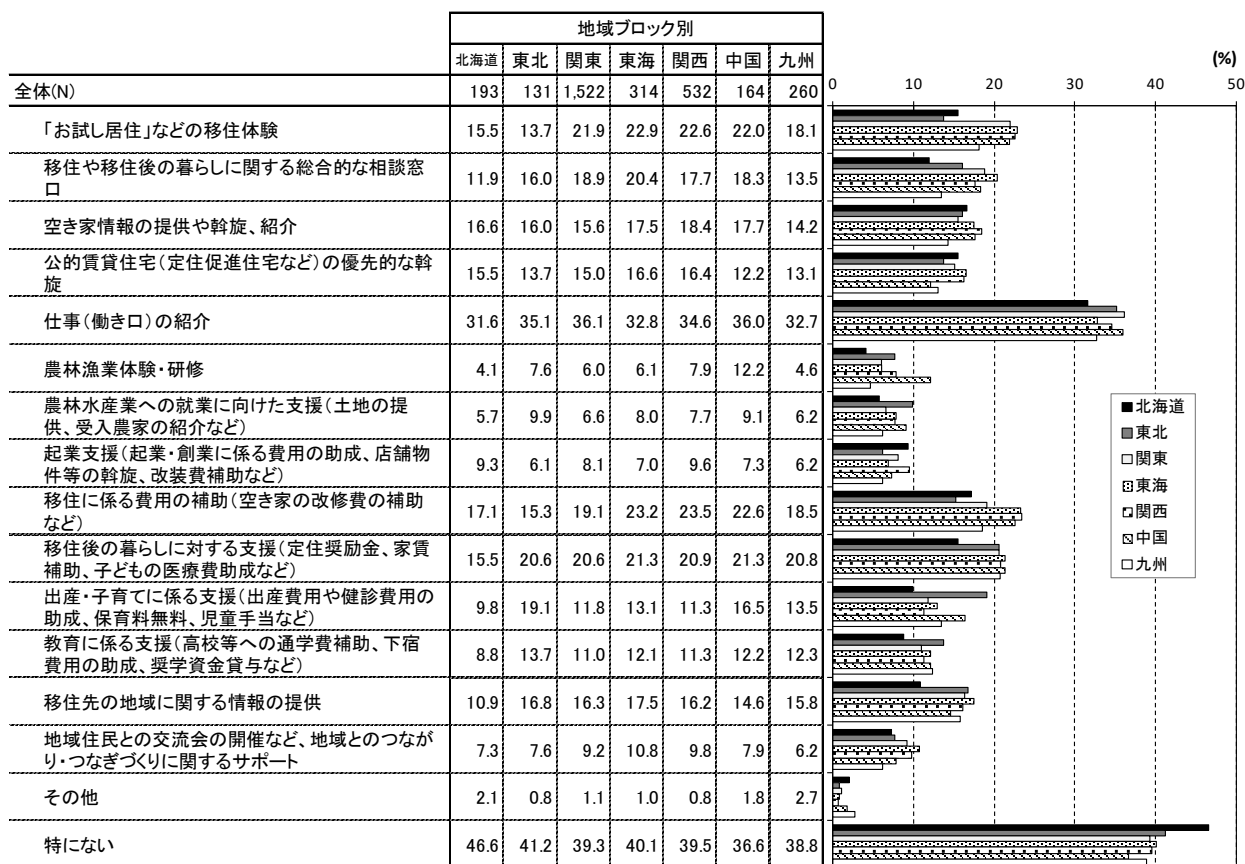
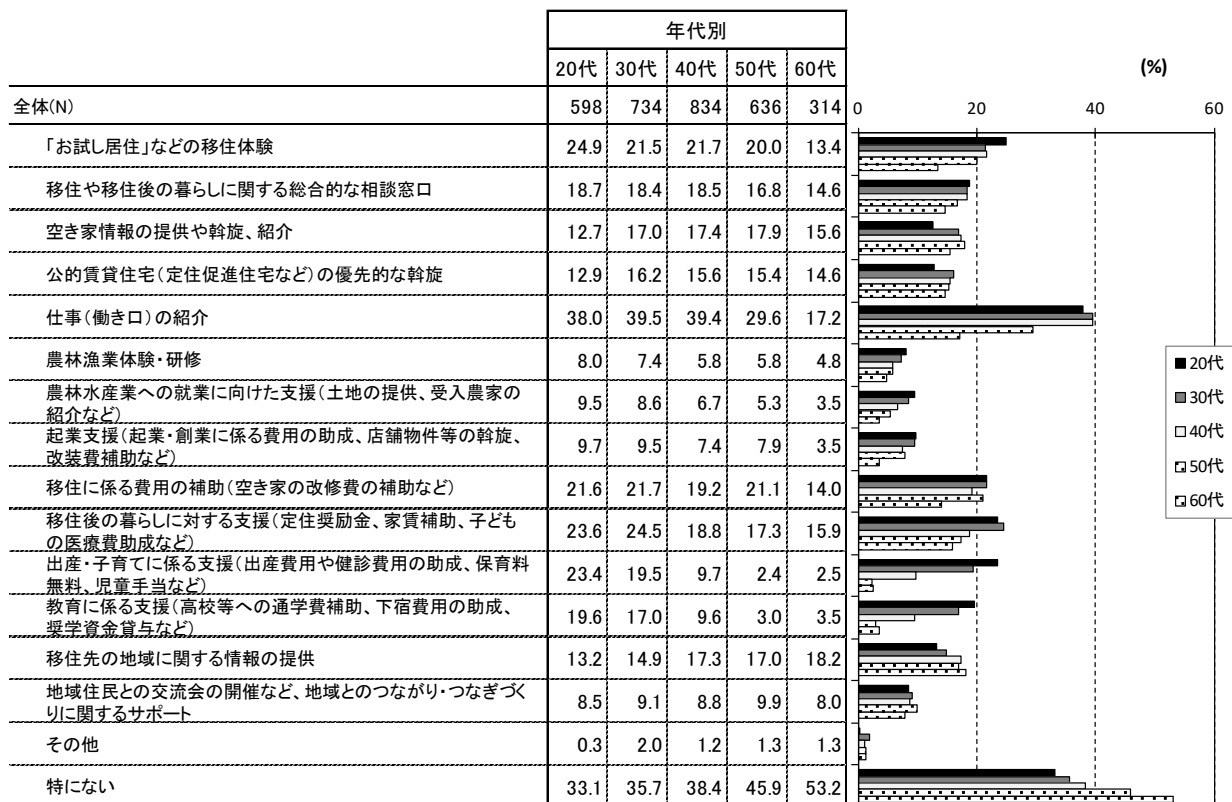
「移住予定あり」・・・農山漁村地域に移住する予定がある
「いずれ」・・・いずれは(ゆくゆくは)農山漁村地域に移住したいと思う
「条件が合えば」・・・条件が合えば農山漁村地域に移住してみてもよいと思う

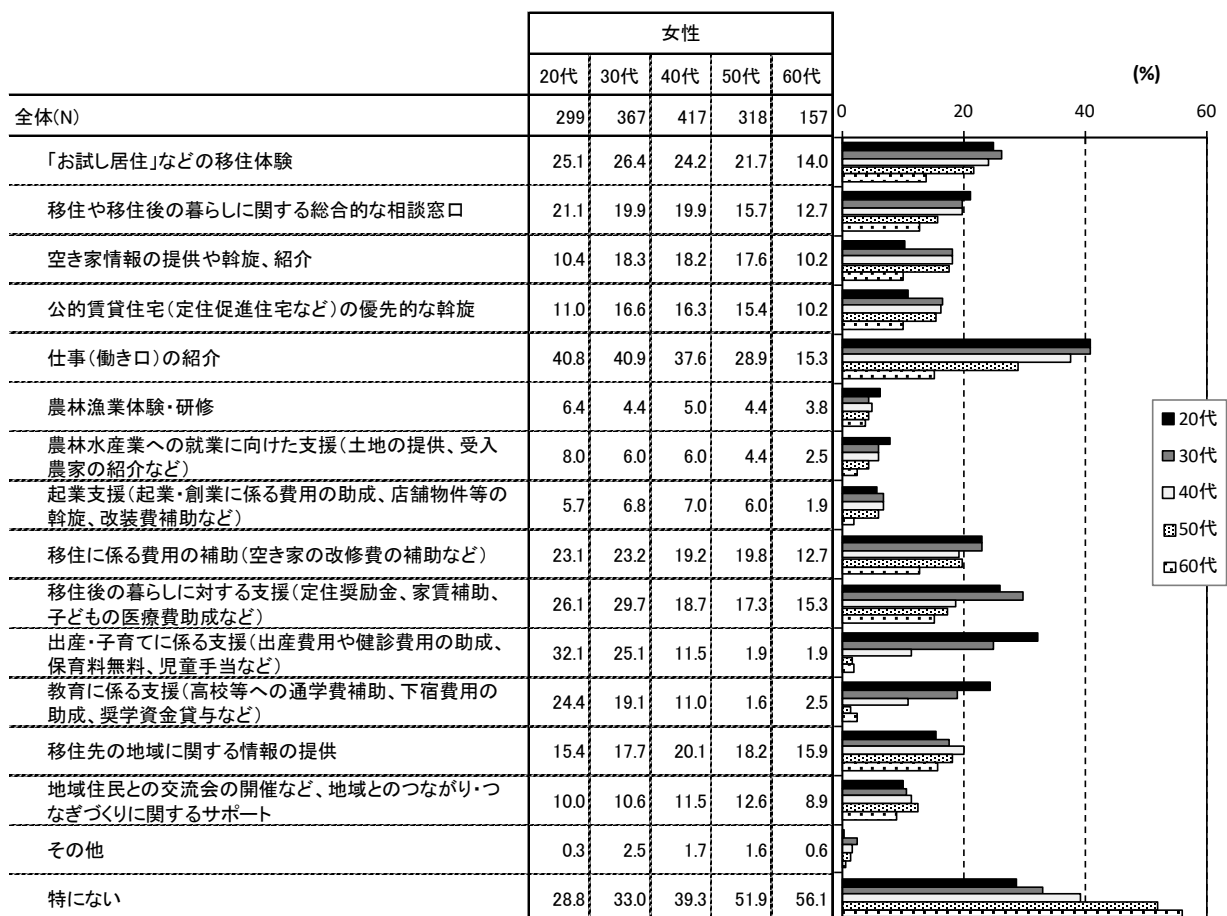
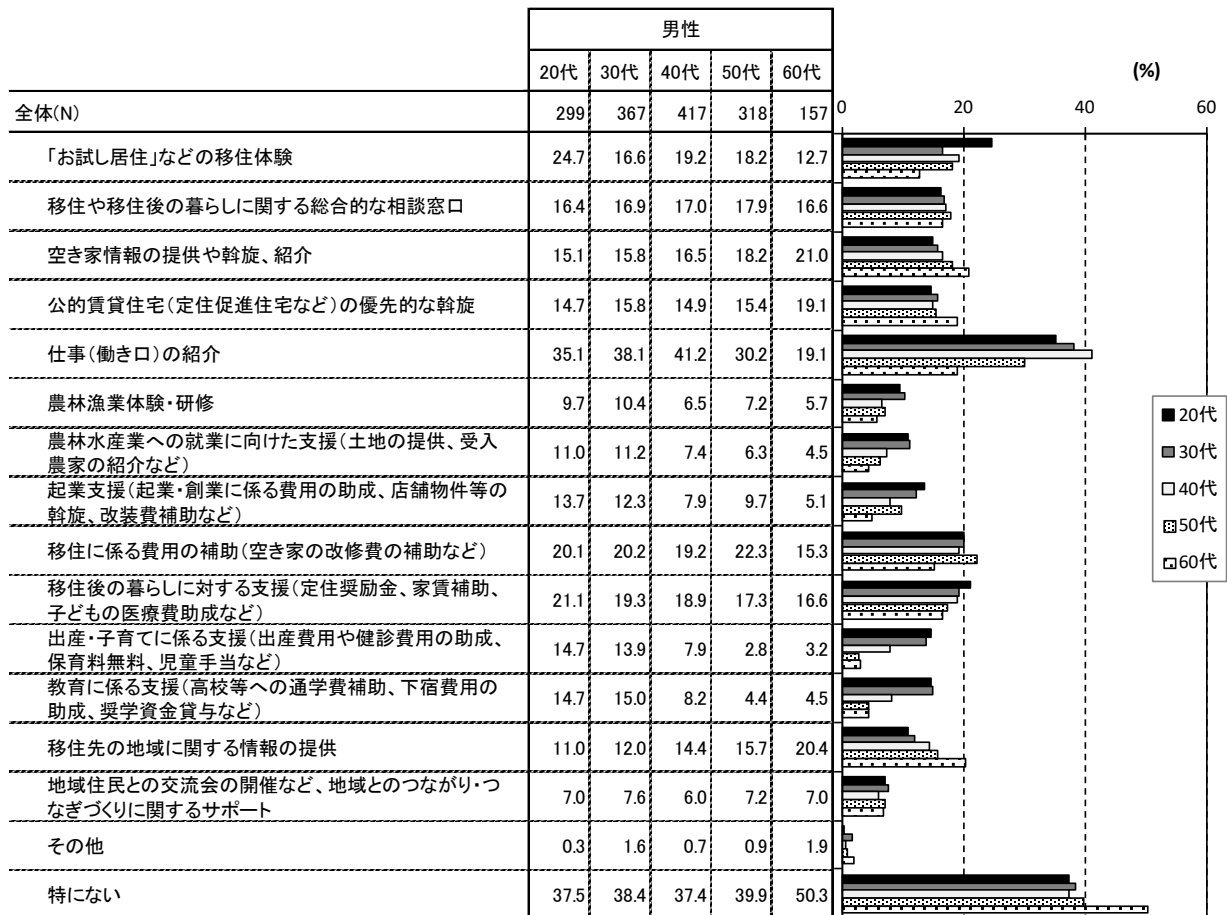
【以降、すべての人が回答】

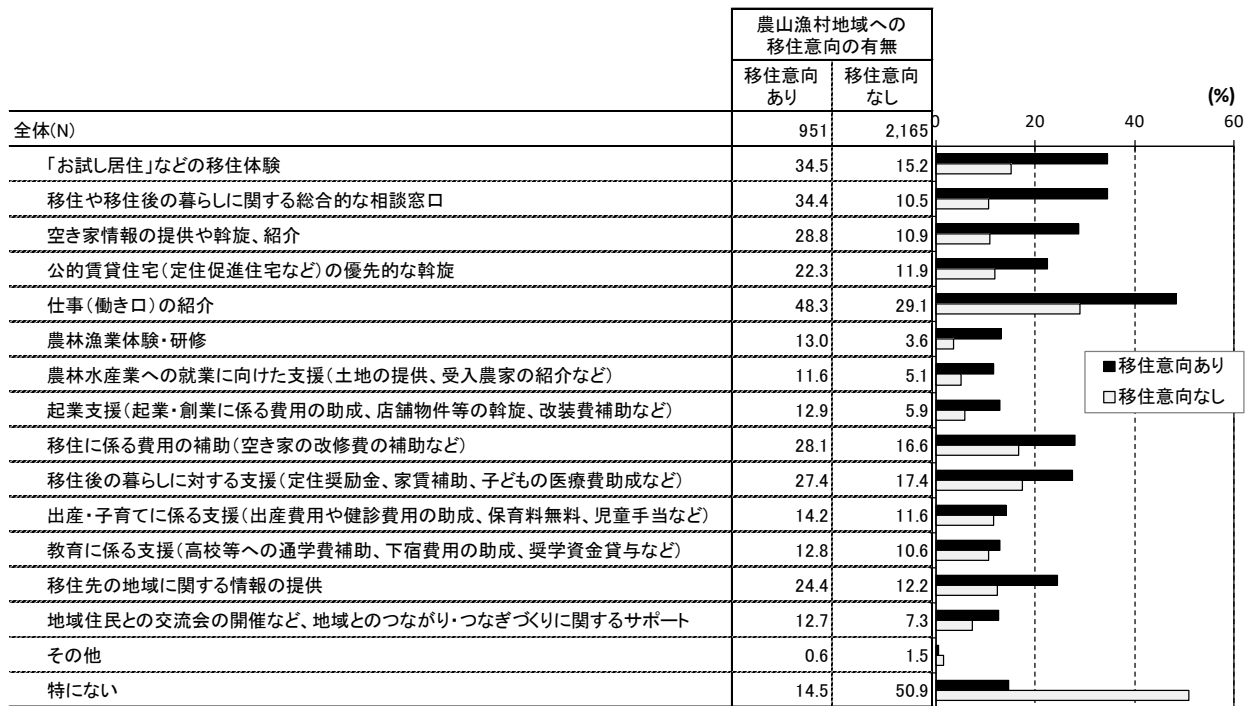
問 19 あなたは、農山漁村地域の自治体がどのような施策を行ってれば、先ほどご回答いただいたような農山漁村地域への移住に対する不安や懸念が解消され、移住してみたいと思うようになりますか。
(〇はいくつでも)

- ▶ 全体の中から具体的な施策をみると、「仕事（働き口）の紹介」が 34.9%で最も割合が高く、次いで、「お試し居住」などの移住体験」が 21.1%、「移住後の暮らしに対する支援（定住奨励金、家賃補助、子どもの医療費助成など）」が 20.5%と続いている。
- ▶ 年代別でみると、若い世代では、「仕事（働き口）の紹介」、「お試し居住」などの移住体験」の割合が高い傾向にある。その一方で、年代が高くなるにつれ、「特にない」及び「移住先の地域に関する情報の提供」の割合が高い。
- ▶ 性別・年代別でみると、「特にない」を除くと、20代～40代の男女ともに「仕事（働き口）の紹介」が最も割合が高い。また、20代～40代の女性は、「出産・子育てに係る支援」や「教育に係る支援」など、ほとんどの項目で同年代の男性よりも割合が高い。
- ▶ 農山漁村地域への移住意向の有無別でみると、移住意向がある者は、各項目の回答の割合が移住意向のない者と比べて高く、「仕事（働き口）の紹介」が約5割で最も高く、次いで「お試し居住」などの移住体験」、「移住や移住後の暮らしに関する総合的な相談窓口」と続いている。
- ▶ 農山漁村地域への移住意向の程度別でみると、条件が合えば移住してもよいとする者は、ほとんどの項目で他の移住意向の者と比べて高く、「仕事（働き口）の紹介」が5割以上で最も高い。また、「移住先の地域に関する情報の提供」の割合が高い。









「移住意向あり」・・・「農山漁村地域に移住する予定がある」、「いずれは(ゆくゆくは)農山漁村地域に移住したいと思う」及び「条件が合えば農山漁村地域に移住してみてもよいと思う」の合計

「移住意向なし」・・・「あまり積極的に農山漁村地域に移住してみたいとは思わない」及び「農山漁村地域に移住したいとはまったく思わない」の合計



「移住予定あり」・・・農山漁村地域に移住する予定がある
「いずれ」・・・いずれは(ゆくゆくは)農山漁村地域に移住したいと思う
「条件が合えば」・・・条件が合えば農山漁村地域に移住してみてもよいと思う